

## 校地・校舎

### 岡田山キャンパス

所在地 西宮市岡田山4番1号  
校地面積 145,549.62m<sup>2</sup>



### 東京寄宿舎クローバーハウス

所在地 東京都渋谷区大山町8番7号  
校地面積 367.46m<sup>2</sup>

- ① 正門  
② 音楽学部1号館  
③ 音楽学部2号館  
④ ジョージ・オルチン記念音楽館  
⑤ エミリー・ブラウン記念館  
⑥ 文学部1号館  
⑦ 文学部2号館  
⑧ デフォレスト記念館  
⑨ 図書館本館  
⑩ 理学館  
⑪ 総務館／エミリー・ホワイト・スミス記念講堂／ソールチャペル  
⑫ 文學館  
⑬ 理學館別館・心理相談室  
⑭ 社交館  
⑮ 新社交館  
⑯ メアリー・アンナ・ホルブルック記念館  
⑰ 第一体育館  
⑱ 第二体育館  
⑲ 第三体育館  
⑳ テニスコート  
㉑ 購買部  
㉒ シェイクスピア・ガーデン  
㉓ 図書館新館  
㉔ ジュリア・ダドレー記念館  
㉕ エッジウッド館  
㉖ ケンウッド館  
㉗ メアリー・アンド・グレイス・ストウ学生寮  
㉘ 岡田山ロッジ  
㉙ 大学クローバー館（クラブハウス）  
㉚ 茶室（松風庵）  
㉛ ミリアム館  
㉜ 汽罐室と煙突  
㉝ アンジー・クルー記念館  
㉞ コミュニケーションセンター  
㉞ 旗光館（中高部）  
㉞ ヴァージニア・クラークソン記念館  
㉞ タルカット記念館  
㉞ めぐみ会館（同窓会館）  
㉞ Kobe College International Students House

●は重要文化財

# 2020年度 事業報告書

学校法人 KOBE COLLEGE  
神戸女学院



神戸女学院は2025年に  
創立150周年を迎えます。

## CONTENTS

- 2 理事長メッセージ
- 3 建学の理念・教育目標／設置学校・学部・学科等／沿革
- 5 大学メッセージ／中高部メッセージ

### 神戸女学院 事業報告

- 7 大学の事業報告
- 10 中高部の事業報告
- 12 法人の事業報告

### 2020年度のトピックス

- 15 大学の取り組み
- 19 中高部の取り組み
- 21 法人の取り組み

### 神戸女学院 基本データ

- 23 入学定員・収容定員・在籍者数
- 24 在籍者数推移
- 25 志願者数・合格者数・入学者数
- 26 留学状況
- 27 卒業・修了・博士後期課程単位取得退学、博士学位授与の状況
- 29 就職・進学状況
- 31 役員・評議員
- 31 教職員
- 32 事務組織図

### 財務の概要 -2020年度決算-

- 33 2020年度決算について
- 33 事業活動収支計算書
- 36 資金収支計算書
- 37 貸借対照表
- 38 財務比率の推移

### 事業計画

- 39 中期計画(2021-2025)
- 41 2021年度事業計画

2020年度報告

# コロナ禍、中期計画、 そして創立150周年



## コロナ禍の中で

2020年度の教育・運営について、新型コロナ感染症への対応を抜きに語ることはできません。ご承知のように2019年度末以降、2020年度は多くのプログラムを中止もしくは変更せざるを得ませんでした。生徒・学生の皆さんには忍耐をお願いすることとなり、残念かつ申し訳なく存じます。大学・大学院では一年間、原則遠隔授業としたため、歴史ある学舎に身を置いての研究活動はかないませんでした。中高部では6月から対面授業は開始できましたが、行事や課外活動への影響は避けられず、不自由な学校生活となりました。ご家庭の皆様も同様に感じられたことと拝察いたします。他方、この困難を、緊急奨学金設置を始めとする各種の支援事業や学内環境の整備、授業の創意工夫など、めぐみ会、教職員、関係者のお骨折りも特筆すべきことと思います。2020年度末には予定した全ての卒業式を執り行い、それぞれの課程を終えた皆さんを祈りをもって講堂から送り出すことができました。神戸女学院に課せられた使命の大切な一つです。改めて、生徒・学生、家庭会、めぐみ会、教職員、関係者、すべての皆様のご寛容とご助力に感謝を申し上げます。

## 新中期計画と150周年

2020年4月の私立学校法一部改訂により、5年前後の中期計画に関する情報公開が義務づけられました。大学ではすでに2012年から中期計画を発表していましたが、学院では2019年度から改めて中高部、大学、理事会で議論し、創立以来受け継いできた「キリスト教主義」「国際理解の精神」「リベラルアーツ」「女性教育」「少人数制」を次世代に向けて大切に発展させることを再確認し、2020年4月に新たな中期計画を発出しました。このことを心にとめ、2025年に迎える150周年のメインメッセージに "Bridging Generations -150 Years of Excellence in Women's Education" を選定しました。歴史は漫然たる反復ではなく、自覚的な更新の中で活きたものとなります。これからも先達より学んだよき伝統をいっそう深め、さらにコロナ後を見据えた新時代の神戸女学院構築に力を注いでまいります。引き続き、お祈りとお支えをくださいますようお願いいたします。

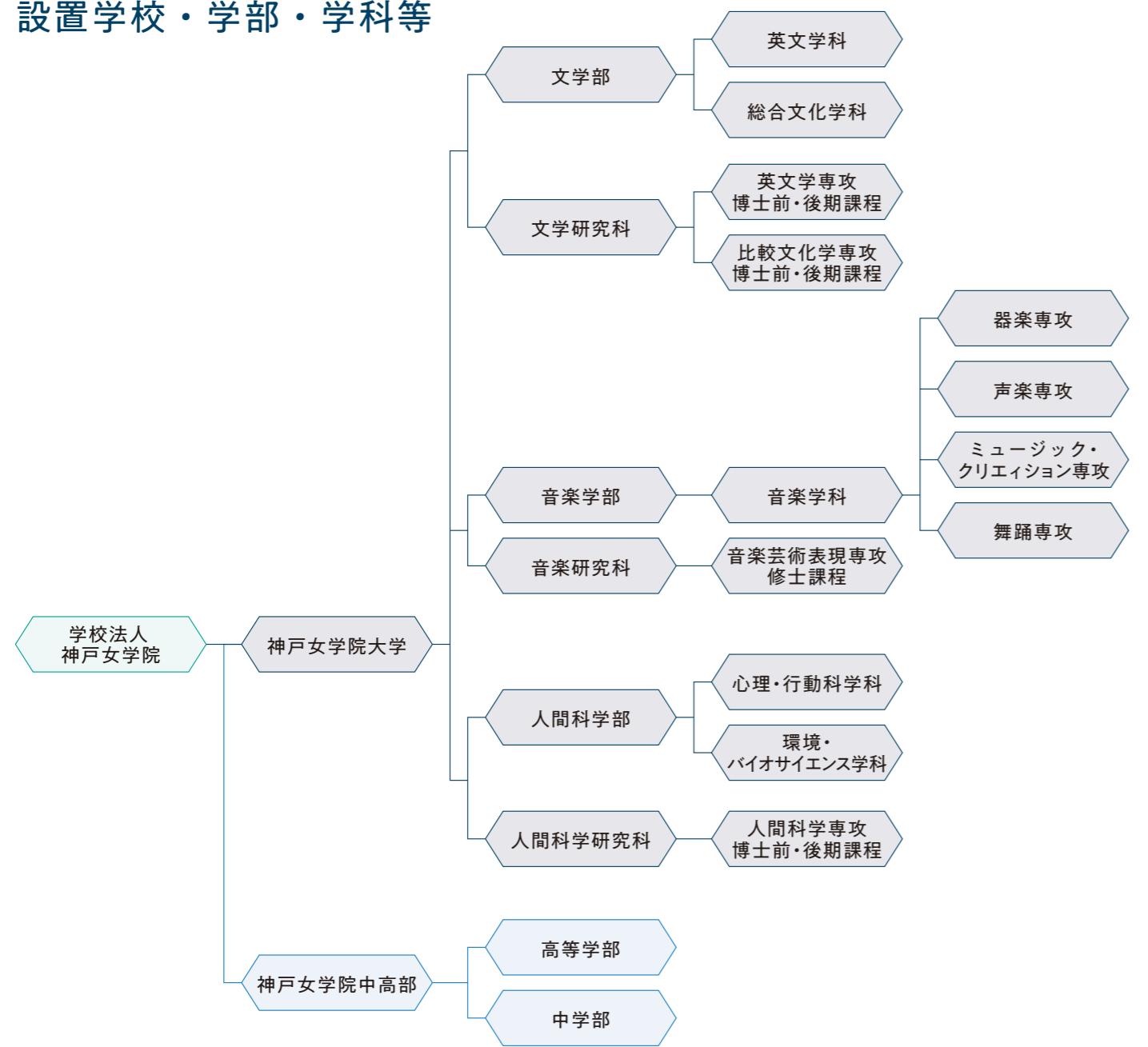
学校法人 KOBE COLLEGE  
神戸女学院 理事長・院長

## 建学の理念・教育目標

神戸女学院は、1875年(明治8年)、日本が近代化への一步を踏み出したその時、アメリカン・ボード中部及び東部婦人伝道会から派遣された宣教師タルカット、ダッドレー両先生によって創立されました。当初から、神戸女学院の教育の根幹はキリスト教と国際理解の精神に根ざした全人教育であり、個性を重んじ、自由で自立した教養豊かな女性の育成でした。以来、高い教養と専門的知識、広い視野と

適確な判断力、さらに語学力を育み、神戸女学院の永久標語である「愛神愛隣」の精神のもと、自らが身を置いた時代や環境の中で、自らの使命を自覚し、地域社会や国際社会で活躍する女性を世に送り出してきました。現代も、この建学の精神と基本的教育目標を堅持しながら、急速に変化する社会の要請に対応して、絶えずカリキュラム内容の充実を図っています。

## 設置学校・学部・学科等



## 学校法人 神戸女学院の沿革

1873年(明治6年)	▶ 米国で教育者としての経験を持っていたタルカット、ダッドレー両宣教師は、3月に来日。10月、神戸花隈村に私塾を開く。
1875年(明治8年)	▶ 創立。山本通に女子寄宿学校を開校。「女學校」と呼ばれる。英語名はGirls' School。初代校長はタルカット、舎監はダッドレーで、当初の学生数は26名(寄宿生3名、通学生23名)。
1879年(明治12年)	▶ 校名を「英和女學校」とし、5年制の課程を定め、中等教育のカリキュラムを整備。
1885年(明治18年)	▶ 高等科(1年)、および校章を定める。三つ葉のクローバーをかたどった校章は、身体、精神、靈魂の一致調和した完全な人格の育成をめざす学院の理想を表現。
1891年(明治24年)	▶ 本格的な女子高等教育を開始、3年制の高等科を設ける。この頃「神戸英和女学校」と名のる。
1894年(明治27年)	▶ 「神戸女学院(Kobe College)」と改称。名実ともにCollege(女子高等教育機関)となる。
1906年(明治39年)	▶ 教育課程を改正。また、新たに音楽科を置く。
1909年(明治42年)	▶ 専門学校令により「専門部(4年制)」(当時の女子高等教育の最高水準)設置認可。
1919年(大正8年)	▶ 日本女子大、東京女子大に続き、専門部を「大学部」と称することを認められる。予科1年・本科3年を置く。
1933年(昭和8年)	▶ 西宮市岡田山に移転。伝道者・建築家ヴォーリズによってスペニッシュ・ミッション様式の校舎が完成。現在の文学館、理学館、図書館本館、音楽学部1号館、講堂・ソールチャペルを含む総務館などは当時の建物。
1947年(昭和22年)	▶ 学制改革により新制中学部設置認可。
1948年(昭和23年)	▶ 新制高等学部設置認可。4年制の新制女子大学―「神戸女学院大学」が認可され、文学部(英文学科、社会学科、家政学科)を設置。
1949年(昭和24年)	▶ 新制の音楽学科を設置。1952年には音楽学部の認可を受ける。
1965年(昭和40年)	▶ 大学院文学研究科(修士課程)英文学、社会学専攻を設置。
1967年(昭和42年)	▶ 家政学科が独立して家政学部となる。
1975年(昭和50年)	▶ 創立100周年を迎える。
1976年(昭和51年)	▶ 文学部社会学科を改組して総合文化学科とする。
1980年(昭和55年)	▶ 大学院の整備・充実が進む。大学院文学研究科(修士課程)に日本文化学専攻を設置。
1989年(平成元年)	▶ 大学院文学研究科英文学専攻に博士後期課程を設置。
1990年(平成2年)	▶ 音楽専攻科を設置。
1993年(平成5年)	▶ 家政学部を改組して、人間科学部人間科学科を設置(家政学部は募集停止)。
1997年(平成9年)	▶ 大学院人間科学研究科(修士課程)人間科学専攻を設置。
1999年(平成11年)	▶ 大学院人間科学研究科人間科学専攻に博士後期課程を設置。
2000年(平成12年)	▶ 創立125周年を迎える。大学院に音楽研究科(修士課程)音楽芸術表現専攻を設置。また大学院文学研究科日本文化学専攻を比較文化学専攻に改称。
2002年(平成14年)	▶ 大学院文学研究科比較文化学専攻に博士後期課程を設置。
2004年(平成16年)	▶ 大学院文学研究科(博士前期課程)英文学専攻に通訳コースを設置。
2005年(平成17年)	▶ 人間科学部に心理・行動科学科と環境・バイオサイエンス学科を設置(人間科学科は募集停止)。
2006年(平成18年)	▶ 音楽学部音楽学科に舞踊専攻を設置。
2007年(平成19年)	▶ 音楽学部音楽学科作曲専攻をミュージック・クリエイション専攻に改組。
2013年(平成25年)	▶ 大学院文学研究科社会学専攻を廃止し、一部科目を比較文化学専攻に移行。
2014年(平成26年)	▶ 岡田山キャンパスの12棟の建物が、国の重要文化財に指定される。
2015年(平成27年)	▶ 創立140周年を迎える。大学院文学研究科(博士前期課程)英文学専攻にグローバル・スタディーズコースを設置。



## 大学・中高部からのメッセージ

“生き方”を考え続ける日々を通して、培われるものとは?  
大学学長と中高部部長からのメッセージです。

困難の中でも  
ベストを尽くして  
可能性を広げる

神戸女学院大学  
学長

中野 敬一

生徒の希望を  
生み出すことが  
できることを願つて

神戸女学院  
中学部・高等学部 部長

森谷 典史

はじめに、2期6年間、学長としてご尽力くださった齊藤言子先生に心から謝意を表します。先生の献身的な姿勢に倣って与えられた職務に励む所存です。よろしくお願いします。

さて2020年度は文字通り新型コロナウイルス一色となりました。4月に予定していた入学式は中止となり、前期の全授業を遠隔で行うことに決定し、それに伴い学生寮も閉寮となりました。遠隔授業を行うためには学内の通信環境整備の時間が必要であり、通常よりひと月遅れの5月の連休明けから前期授業を開始しました。

なんとか前期を乗り切り、感染者数が減少した9月には入学式ができなかった新入生のために「新入生の会」を挙行しました。一度もキャンパスに足を踏み入れたことがなかった新入生が、教職員や友人と直接出会う機会になったのは嬉しいことでした。

しかし、後期に入てもコロナは衰えず、前期同様、遠隔授業の継続となりました。実験や資格取得に伴う

実習等の授業は一部を対面としましたが、多くの学生は一年間を通じて遠隔授業のみであったことになります。教員や友人とキャンパス内で共に学びを深めることができない状況に多くの困難があったと思います。それでも学生の皆さんには学修に努め、就職活動に励み、この状況でのベストを尽くされました。大学もこの状況で可能なことを検討し、3月には感染予防を徹底させ卒業式を3回に分けて挙行しました。

ちなみに、オンライン授業は負の側面のみをもたらしたのではありません。コロナ禍でも安定した授業の継続を可能としたのはこの技術です。教職員と学生間のやり取りの簡便さは授業の理解度を高め、期せずして情報通信技術(ICT)の習得の機会も与えられました。せっかく得た技術ですから今後も効果的に用いていきたいと考えています。

コロナの収束にはまだ時を要するようです。様々な課題がある所にさらなる課題が突きつけられていますが教職員一同で知恵を合わせて乗り越えてまいります。

2020年は、新型コロナ感染症のために、様々な制約の中、授業や、学校行事を進めました。4月7日の中学部入学式、8日の高等学部入学式、始業式を終え、学校は約2か月間の臨時休校となりました。学習を継続するために、2週間の準備期間後、4月23日から、オンライン型の、授業配信を始めました。システムに上手くつながらない。そのため、配信時間が一定でないなど、様々な問題を抱えながらのスタートでしたが、5月中ごろからは、問題なく配信ができるようになりました。そして6月1日より、分散登校を始めることができます。生徒、教員ともに、毎日の学校があるということはとても幸せなことであることに改めて気が付き、感謝をすることができたと思います。

行事につきましては、4月、中学部1年デイキャンプ、春の遠足、体育祭、などの1学期の行事は実施することはできませんでしたが、2学期からの行事、文化祭、芸術鑑賞会(オンライン)秋の遠足行事、学校説明会(オンライン)、



キャリアガイダンス(オンライン)などは、少し縮小したり、形を変えたりしながら、実施することができました。ただし、外部の方の入構はしていただくことができなかつたため、PTA関係の行事は実施できませんでした。

そんな中でも、礼拝は、放送という形をとりながら続けていくことができました。3学期にはいり、2学年が講堂に集い、講堂と、放送を併用しながら、講堂での礼拝を守ることができます。このことにより、少しずつ、元の形に戻っていることが感じらました。礼拝で生徒たちは、それぞれが経験した、つらかったことや、うれしかったことを語ってくれます。このことによって、互いに共感し、心を通わせることをおぼえ、それぞれの中に、優しさが育っていくのだと、感じることができました。苦難の中にあってもそこに希望を見出すことのできる中高部でありたいと考えています。

# 神戸女学院 2020年度 事業報告

## 大學

### 新型コロナウイルス感染関連

#### 学生支援関係

##### ① 神戸女学院大学緊急支援給付金の支給

コロナ禍による遠隔授業受講に備え、ネット環境整備や学修の場を整えるための費用として、6月に一律5万円を学部生・大学院生2,525名に支給しました。(総額1億2,625万円)

##### ② 神戸女学院大学緊急支援奨学金の給付

コロナ禍で家庭の収入が減少したことにより生活が困窮している学生に対し、奨学金30万円を第一次募集の7月に45名に、第二次募集の12月に38名にそれぞれ給付しました。(総額2,490万円)

##### ③ 神戸女学院めぐみ会緊急支援奨学金の給付

コロナ禍で家庭の収入が減少したことにより、生活が困窮している学生に対し、公益社団法人神戸女学院めぐみ会様のご支援で、第一次募集の7月に36万円を25名に、第二次募集の12月に30万円を5名にそれぞれ給付しました。(総額1,050万円)

##### ④ 下宿生を対象とした学びの支援の実施

遠隔授業に伴う下宿生・寮生の学費の負担を少しでも軽減するため、神戸女学院大学教職員組合からの寄付300万円により、12月にQUOカード7,000円分を406名に支給しました(総額284.2万円)。

#### 授業関係

##### ① 前期授業関係

4月7日に兵庫県を含む7都府県に、16日には全国に緊急事態宣言が発出されたことから、前期授業の全面遠隔化、前期末(8月7日)まで学生の登校禁止、学生寮の閉寮を決定し、5月7日から全科目遠隔で前期授業を開始しました。全科目遠隔化に対応するためサーバーの増強、MoodleやZoom等のオンラインツール利用マニュアルやガイドラインの整備、ICT面でのサポートのための遠隔授業サポート室設置など、必要な対応を併せて行いました。

##### ② 対面授業の一部開始

6月2週目以降、卒業・修了年次の音楽学部・研究科のレッスン(メジャー)、人間科学部・研究科の実験実習科目、資格に関わる科目など、卒業や修了に関わるものや遠隔では不可能であるもの、後期に回すことができないものを中心に、一部対面授業を開始しました。当該科目を履修する寮生には帰寮を許可しました。

##### ③ 後期授業関係

後期も遠隔授業を基本としましたが、卒業や修了に関わる科目や、音楽学部のレッスンなど対面の必要性が高いものは引き続き対面で行いました。

##### ④ 登校する学生の健康状況の把握

授業等で登校する学生には、事前に健康行動チェックシートに必要事項を記入の上、入構の際提示を義務付け、シートは各学部事務室で管理しました。

##### ⑤ 必要とする学生へのノートパソコン、モバイルWi-Fiの貸出

遠隔授業の受講にあたり、通信環境を準備できない学生に対して、ノートパソコン、モバイルWi-Fiの貸出を行いました。

##### ⑥ 学費の納付期限の延長

コロナ禍の混乱を鑑み、前後期の学費の納付期限を、前期分は8月31日まで、後期分は12月15日までそれぞれ延長しました。

#### 授業外の対応

##### ① 図書館

前期は学位論文を提出する学部4年生・大学院生を対象に、図書館資料の郵送貸し出しを実施しました(1回のみ送料無料一上限あり)。併せて、契約データベースのアクセス数増設や、Moodleによる新入生向け図書館ガイドをはじめ情報発信を増やすなど、オンラインによるサービスの充実化を図りました。7月以降8月末まで、大学院生を対象として事前予約制で人数制限の上、開館しました。9月以降、利用対象を4年生に拡大しました。来館が困難な学生には郵送貸し出しサービスを再開しました。また衛生管理を徹底するため、図書消毒機を導入しました。

##### ② クラブ活動

クラブ活動については全面禁止していましたが、試合が予定されていた運動系クラブで申し出があったところなどに対して、活動が屋外であること、最大限の感染防止対策を取ることを条件に、夏以降一部活動を許可しました。

##### ③ 学生サポート

- キャリアセンターでは、就職活動中の4年生、就職活動を控えた3年生を対象に、個別面談や模擬面接等はWEBツールを使って実施しました。資料室は夏以降、予約制で開室しました。
- 例年各企業が本学を訪れて学内で開催している企業セミナーは、オンラインで実施しました。
- カウンセリングルームでは、電話での個別相談の実施など、不安を抱える学生に対して遠隔でのサポートを強化しました。
- 学生が入構を必要とする場合は、学院内の会議室で個別に検討の上、対応しました。

#### 大学行事関係

##### ① オープンキャンパス

6月21日は中止。7月26日、8月2日はWEB形式で開催しました。8月23日、8月30日、9月13日、12月13日、3月21日は事前予約制で人数を制限し、開催しました。

##### ② 「新入生の会」開催

入学式が中止となったため、9月23日・24日に「新入生の会」を挙行しました。三密を避けるため、2日間、5回に分けて行いました。

##### ③ 卒業式

3月18日、卒業式を挙行しました。三密を避けるため3回に分け、学位記は各学科、研究科の代表者に渡すなど、例年とは形を変えての挙行となりました。保護者や関係者の皆様にご覧いただけるようライブ配信、オンデマンド配信を行いました。

## 新型コロナウイルス感染関連以外

#### 学修環境の整備関係

##### ① 次年度ITリプレイスに向けた準備

IT環境基盤を安定的に維持運営するための支援を継続して行うとともに、次年度のITリプレイスに向けた準備を整えました。

##### ② 図書館地下の電動式集密書架制御装置の交換

2016年度から進めてきた図書館新館地下2階の電動式集密書架制御装置の交換が、今年度で完了しました。

##### ③ 図書館所蔵の電子ブックの検索可能化

図書館蔵書検索システム(OPAC)の仕様変更を行い、電子ブックの検索も可能となりました。

**④ 国立情報学研究所(NII)のシステムへの対応**

国立情報学研究所(NII)が2020年に運用を開始したシステムCAT2020に、図書館システムを対応させるための作業を行いました。

**⑤ 視聴覚センターの設備更新**

視聴覚センターで、動画配信サーバー、レコーダーの更新を行いました。

**⑥ 教室の視聴覚設備の更新**

文学館中教室(L-3、L-7、L-10)、EB館中教室(EB-201、EB-202)、デフォレスト館大教室(D-206、D-208)の視聴覚設備の更新を行いました。

**⑦ 証明書発行機の更新**

Windows7のサポート終了に伴い、デフォレスト館証明書発行機を更新しました。

**⑧ クラブ室のエアコン設置**

クローバー館クラブ室のエアコン設置を完了しました。

**⑨ 学生寮の環境整備**

学生寮の浴室・シャワー室の脱衣棚の改修、家電の入れ替え、各個室の学習机のデスクマット設置等を行いました。

**⑩ 英語の自学自習ツールの導入**

英語自学自習ツール(ATR)を引き続き導入しました。

**⑪ 語学の補習講座のオンライン開講**

IELTS(英語)、HSK(中国語)、ハングル検定(韓国語)の補習講座をオンラインで開講しました。

**広報関係****①マイバッグデザインコンテスト優秀作品の商品化**

昨年度(2019年12月~2020年1月)行われたマイバッグデザインコンテストで、最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品から3作品を商品化し、学内のコンビニエンスストアで販売を開始しました。

**②交通広告の掲出**

9月21日~10月4日、阪急電鉄車内ドア横に広告「誰か、じゃなくて、私たちが。」を掲出しました。

**③音楽学科**

- 11月25日の定期演奏会で4年に1度となる「メサイア」の公演を行いました。
- 舞踊専攻の卒業公演を2021年1月15日に、年度公演を3月10日・11日に行いました。
- またウインドオーケストラは、吹奏楽の分野で世界的な作曲家から世界初演となる作品の演奏の権利を得て、CDの初録音を行いました。

**④英文学科**

昨年度に引き続き、第16回大阪アジアン映画祭に協賛し、学生たちが日本語字幕を作成したバングラデシュ映画『竹で稼ぐ男たち』(シャヒーン・ディル・リアズ監督作品)が、2021年3月10日、同映画祭で上映されました。また同日、ドイツ、バングラデシュ、日本をつなぎ、オンラインによるシンポジウム「『竹で稼ぐ男たち』のストーリー」を開催しました。

**⑤新しいWEBマガジンオープン**

3月に新しいWEBマガジン「わからないから、おもしろい。」を公開しました。さまざまな視点から、教員の研究・活動、卒業生のいま、学生の活動や取り組みなどを定期的に発信していきます。

**社会連携の強化関係****①地域創りリーダー養成プログラム関係**

地域創りリーダー養成では、プログラム第13期生が西宮浜班、農地班、こども班、門戸班に分かれ、コロナ禍ではありましたがそれぞれ活動を行いました。また本プログラムが、ケーブルテレビペイコムチャンネルの「このまち夢いっぱい」で「大学生の社会貢献活動」として取り上げられました。

**②音大連携**

東京音楽大学と本学音楽学部との音大連携による講座を引き続き実施しました。

**③産学協定連携締結先での活動**

本学と産学協定連携を締結したスミリンケアライフ株式会社が運営する高齢者向け住宅「エレガーノ西宮」で、音楽学部教員と学生がクリスマスコンサートを行いました。

**④音楽によるアウトリーチ**

音楽によるアウトリーチは、後期から対面での活動を実施し、幼稚園、小学校での活動のほか、子どものためのコンサートを3回行いました。

**⑤小学校等での外国語活動のサポート**

英文学科で教職課程を履修している4年生が、西宮浜義務教育学校、西宮市立山口小学校で1~2年生を対象に外国語(英語)活動のサポートを行いました。

**中高部****新型コロナウィルス感染関連****学生支援関係****①神戸女学院めぐみ会緊急支援奨学金の給付**

コロナ禍で家庭の収入が減少したことにより、生活が困窮している生徒に対し、公益社団法人神戸女学院めぐみ会様のご支援で、9月に30万円を1名に給付しました。

**②リモートによるカウンセリングの実施**

4、5月の学院閉鎖期間中、カウンセリングを必要とする生徒、保護者に対して、リモートによるカウンセリングを実施しました。

**授業関係****①臨時休校の実施**

4月7日に中学部入学式、4月8日に高等学部入学式、始業式実施の後、4月9日から5月29日までは、新型コロナウィルス感染防止のため、臨時休校としました。

**②オンライン授業の開始**

- 臨時休校を決定して以降、休校の長期化を想定し教師に対してオンライン授業の検討を要請しました。約2週間の準備期間のうち、4月23日からは、オンラインによる授業を開始しました。
- オンデマンド、オンライン授業配信のため、ClassiとGoogle classroomを利用しました。

**③学校の再開**

近隣の中學、高等学校の状況等を踏まえ、6月1日から学校を再開することとしました。6月17日までは登校生徒数を少なくするために分散登校としましたが、6月18日からは通常登校としました。

**④中学受験直前期間の臨時休校**

中学受験直前の1月12日から15日は、受験生の新型コロナウィルス感染防止対策のために臨時休校とし、オンライン授業に切り替えました。

## 学校行事関係

### ①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつも通常通り行った行事

下記の行事については、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の注意を払いつつ、ほぼ例年通りの行事を行うことが出来ました。

- 中学部・高等学部入学式    • 中学部・高等学部卒業式    • 始業式    • 終業式    • 定例試験
- 中学部入試    • 中学部・高等学部校内大会(種目等は変更)    • 高等学部1年一泊研修旅行
- 高等学部2年修学旅行    • 中学部3年小旅行    • 秋の遠足    • クリスマスの集い

### ②通常通り行えなかった行事

下記の行事については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、通常通りの行事が行えませんでした。

#### 中止した行事

- 中学部1年オリエンテーション・デイキャンプ
- 宗教部主催「リベラルアーツプログラム」(広島・長崎訪問、白浜訪問、金ヶ崎訪問)
- 春の遠足
- 中学部生徒総会
- 夏休み中の行事  
(リーダーシップトレーニングキャンプ、エンパワーメントプログラム、夏山登山、オーストラリアスタディツアーア)
- 愛校バザー
- 体育祭
- 中学部2年文楽鑑賞教室(探究)
- 中学部3年英語劇(探究)

#### 方法を変更して開催した行事

- 芸術鑑賞会 ..... リモート開催
- 文化祭 ..... リモートでの鑑賞
- 全員参加の礼拝 ..... 講堂への入場者を制限し残りは放送で実施
- 宗教強調週間 ..... 放送により実施
- キャリアガイダンス ..... リモートにより実施
- キャンパス見学会 ..... 完全オンライン型で開催
- 人権学習会 ..... 放送学習により実施
- クリスマス礼拝 ..... 放送により実施
- 入試説明会 ..... 完全オンライン型で開催

## クラブ活動

学院危機管理委員会の活動基準の変更に伴い、一時はクラブ活動を抑制せざるを得ない時期もありましたが、大会が開催される前には極力クラブ活動を行い、大会に参加できるよう対応しました。

## 新型コロナウイルス感染関連以外

## 学修環境の整備

IT教室のPCのリプレイスを行ったほか、タルカット館生物講義室に最新電子黒板システムを設置しました。

## 中学部クラス定員削減の検討

中学部のクラス定員の削減について、検討を開始しました。

## 法人

## 新型コロナウイルス感染関連

### 危機管理関係

#### ①危機管理委員会の開催

危機管理委員会を年間12回開催し、学院の活動基準の設定・見直しを随時行い、大学・中高部における対応の検討、教職員の感染防止対策等を協議しました。

### 感染拡大防止対策関連

#### ①食堂等へのパーティション等の設置

新社交館の食堂及び社交館ラウンジの食事スペースに除菌コーティングを施し、パーティションを設置する等、感染防止対策を実施しました。

#### ②手洗い場の設置

食堂前他構内各所に手洗い場を仮設し、感染防止対策を実施しました。

### 財務関係

- 神戸女学院大学緊急支援給付金、神戸女学院大学緊急支援奨学金の支給に際しては、原資を原則として寄付金とするが寄付金が不足した場合には第3号基本金の取崩しにより対応することについて、理事会に了解を得た上で、支給を決定しました。
- 新型コロナウイルス対応のための経費支出については、必要性を確認しつつも迅速な予算化を図りました。
- 新型コロナウイルスによる学院財政への影響について、適宜理事会に報告を行いました。

## 新型コロナウイルス感染関連以外

### 創立150周年関係

#### ①創立150周年メッセージの制定

創立145周年の記念日である10月12日に「150周年特設WEBサイト」を開設し、創立150周年メッセージ“Bridging Generations”を発信しました。

#### ②創立150周年ロゴマークの決定

学生・生徒、卒業生、教職員を対象に創立150周年ロゴマークの募集を実施し、応募作品の中から候補作品を選定し、デザイナーによる精緻化等を経て創立150周年ロゴマークを決定しました。

### 防災対策関係

新型コロナウイルス感染防止対応を優先し、防災対策は見送りました。

## 財務関係

### ①経費支出の適正な管理

学院の収支環境の余裕が少なくなる中、各部署に経費の削減を要請するなど、経費支出の適正な管理に一段と心掛けました。

### ②資産運用関係

資産運用にあたっては、過去の比較的高い利回りの金融資産を温存しつつ、新規の運用については、超低金利下でも安全資産への運用方針を堅持しました。この結果、金融資産からの運用益は減少しました。

### ③キャンパス再整備マスタープラン関係

キャンパス再整備マスタープランを検討するに際しては、当面のキャンパス再整備に使用可能な資金額について、入学者数が減少した場合の備え等を踏まえて算定しました。

### ④旅費規程の見直し

2020年度に検討することとしていた旅費規程の見直しについては、関係部署が新型コロナウイルス対応で多忙であったことから、検討を進めることは出来ませんでした。



## 施設関係

### ①キャンパス再整備マスタープラン関係

国指定の重要文化財である校舎群と景観を守り伝えると同時に教育・研究環境の充実を図るために150周年事業の一環として進める老朽化した校舎の更新・外構整備等の全体計画を委託するマスターアーキテクトとして株式会社日建設計を選定しました。2021年秋には全体構想を公表できるよう、理事会、拡大部長会及びキャンパスクランドデザイン事務局と共にマスタープランの具体的検討を行っています。

### ②施設整備関係

- 老朽化した校舎・設備の予防保全を図るため、中高部タルカット記念館、大学ミリアム館の屋上防水他の外装改修、全学共通の電話交換機の更新、各所空調機更新(設置後20年以上の機器)、中高部系統の受変電設備の更新、文学館、理学館及び第一体育館の照明器具のLED化を行いました。
- また古いタイプの油圧式エレベータのうち、アンジー・クルー記念館とジュリア・ダッドレー記念館についてロープ式に更新の他、現行基準で義務化された戸開走行保護装置を既設エレベータに追加設置するなどの改修を実施しました。2021年度に学生寮の2基の改修を終えることで学院内のエレベータは全てロープ式に更新完了予定です。
- 設置後40年近く経過した変電設備・トランスの更新については、キャンパスクランドデザインの方針が確定するまで延期となりました。



### ③重要文化財関係

2018年の文化財保護法の改正により新たに制度化されたに所有者等による保存活用計画の作成及び文化庁長官による認定等に関する指針が示されたのを受け、「重要文化財神戸女学院保存活用計画」2020年5月改訂版(案)を作成しました。その後、文化庁からの指導監修に沿って修正等を加えた完成版一式を2021年1月に提出し、2月12日開催の文化審議会にて認定を得ることができました。

# 大学の取り組み

Topics from the College

Topics



## 「本当に強い大学 2020」で上位にランクイン！

週刊東洋経済の臨時増刊「本当に強い大学 2020」において、本学が2020年も上位にランクインしました。本学がランクインした項目は右記です。

総合ランキングを構成する各種指標の中で、教員1人当たり学生数(5.2人)、上場企業役員数(6人)、そして外国人教員比率(13.1%)は本学の特色や強みを表す指標です。

Topics



## 英文学科での遠隔授業に関する取り組み

英文学科では5月から始まった遠隔授業において、専任教員の多くが双方向型にはオンライン会議アプリの「Zoom」を、オンデマンド型授業ならびに課題の回収・添削返却・採点には教育機関向けオンラインツール「Edmodo」を使いました。



授業開始までの期間に  
Edmodo内に専任教員の

グループを作り、そこでZoomの使い方やセキュリティに関する情報を共有しました。それと並行して各教員がEdmodo内に自分の科目の「クラス」を作成。その後、特に大きな混乱を生じることなく、履修する学生がEdmodoの「クラス」に参加できました。

専任教員の中にはEdmodoの代わりに本学内にあるオンデマンドツールである「Moodle」を使っている教員や、Zoomではなく「LINE」を使っている教員もありますが、基本的には、各教員ともに双方向型ツールとオンデマンドツールのまさに「合わせ技」で遠隔授業を展開しました。

Topics



## 本学教員が「大同生命地域研究奨励賞」を受賞

英文学科の南出和余准教授が、2020年度(第35回)「大同生命地域研究奨励賞」を受賞しました。

本賞は、「地球的規模における地域研究」に貢献した研究者を顕彰するもので、中でも奨励賞は地域研究の分野において新しい展開を試みるとともに、今後さらに活躍が期待される研究者に贈られる賞です。

今回、南出准教授は「バングラデシュにおける次世代から見た社会変動の研究」での受賞となりました。

Topics



## 交通広告を掲出しました

9月21日(月)から10月4日(日)まで、交通広告(電車内広告)を掲出しました。これまでに引き続き、阪急電鉄車内ドア横広告での展開でした。

引き続き文字主体の広告スタイルを踏襲しながら、今は背景に本学教室の画像を使用しております。この教室は、文学部の学生が主に学ぶ「文学館」内の教室です。

2017年より文字主体の広告スタイルで掲出してきておりますが、今回でいったんの区切りとなりました。



Topics



Topics



## 「新入生の会」が行われました

9月23日(水)・24日(木)、エミリー・ホワイト・スミス記念講堂にて「新入生の会」が行われました。

この会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となった入学式に代わって、新入生を歓迎する行事です。いわゆる「三密」防止のため2日間・5回に分けて行われ、



講堂入り口での体温確認や学生間の距離をとるなど、万全の態勢で感染防止策を講じての開催となりました。

「学長のことば」において齊藤言子学長は、新入生を歓迎する言葉に続いて、「どのような状況に置かれても大学と皆さまはつながっており、私たち(大学)が皆さまを思う気持ちはありません。一日も早く従来の神戸女学院大学の本来の姿を取り戻し、皆さんに神戸女学院大学に入学してよかったです、神戸女学院大学の学生でよかったですと思っていただけるように心を尽くし、全力で取り組みます。」とこれからに向けての姿勢を語りました。

参加した学生はほぼ全員が初めての登校です。オンラインで知り合った学生同士が、初めて対面で会い喜び合う場面が多々見られました。

Topics



## 音楽学部特別客員教授に松下耕氏が着任

2020年度、音楽学部特別客員教授に、日本の合唱界を牽引する作曲家・合唱指揮者である松下耕氏が着任しました。

松下特別客員教授は、前期・後期に開講される「合唱」を担当します。9月28日(月)に第一回目の授業が行われました。

この科目は、合唱音楽を正しく演奏するために必要な技術と知識を習得し、優れた合唱指揮者になるための基礎を身につけることを目標としています。授業では、合唱の美しい響き、表現のために必要な知識を論理的に学び、併せて合唱指揮の方法を実践しました。



Topics



## 音楽学部定期演奏会を行いました

11月25日(水)、兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホールにて、音楽学部定期演奏会を行いました。2020年は4年に1度の「メサイア」の年でした。

これまでの本学の「メサイア」は、賛助男声合唱団の皆様と共に作曲者のヘンデルによる混声四部合唱を演奏してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から舞台での密を避けるため、学生のみによる女声コーラスでの演奏となりました。

学生たちは当日、コーラスマスクを着用し演奏しました。このマスクは歌唱時に飛沫を防止しながら楽な呼吸で歌え



るようオーダーメイドで作られたマスクで、本学卒業生有志の皆様がご寄贈くださいました。

前期授業が遠隔授業となった関係で、学生たちは9月に初めてコーラスで声を合わせましたが、演奏会当日は息の合った演奏を行うことができました。

Topics 8

## 大学クリスマス礼拝を守りました

12月18日(金)、エミリー・ホワイト・スミス記念講堂にて大学クリスマス礼拝を守りました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点



## 「エレガーノ西宮」で音楽学部がクリスマスコンサートを開催しました

12月19日(土)、スミリンケアライフ株式会社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「エレガーノ西宮」で、本学音楽学部がクリスマスコンサートを開催しました。

本学とスミリンケアライフ社は、3月に産学連携協定を締結しました。5月には協定締結記念のコンサートを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベントを実施できない状況でした。そして、このたびようやくクリスマスコンサートを開催することができました。

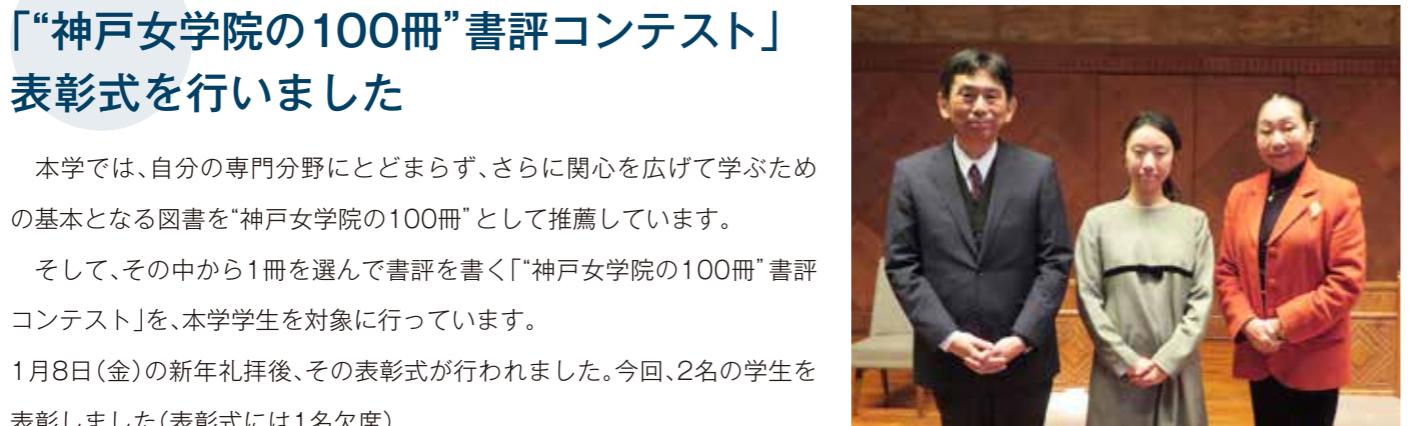
Topics 10

## 「神戸女学院の100冊」書評コンテスト表彰式を行いました

本学では、自分の専門分野にとどまらず、さらに関心を広げて学ぶための基本となる図書を“神戸女学院の100冊”として推薦しています。

そして、その中から1冊を選んで書評を書く「神戸女学院の100冊」書評コンテストを、本学学生を対象に行っています。

1月8日(金)の新年礼拝後、その表彰式が行われました。今回、2名の学生を表彰しました(表彰式には1名欠席)。



Topics 11

## 「大学クローバー賞」「めぐみ会賞」の表彰式を行いました

1月19日(火)、「大学クローバー賞」と「めぐみ会賞」の表彰式が行われました。

「大学クローバー賞」は、ダンス部・チアリーディング部・学生YMCA・聖歌隊ハンドペルクワイア・ラクロス部・スカッシュラケット部の6団体が受賞しました。各団体には、齊藤言子学長から表彰状と賞金5万円が手渡されました。



そして「めぐみ会賞」は、学生YMCA・スカッシュラケット部の2団体が受賞し(ともに大学クローバー賞とのダブル受賞)、永井敬子公益社団法人神戸女学院めぐみ会会長から表彰状と賞金5万円が手渡されました。

Topics 12

## 絵本翻訳コンクール「受賞者の集い」を開催しました

2月13日(土)、第11回絵本翻訳コンクール(本学主催)の「受賞者の集い」をオンラインで開催しました。

例年は受賞者を本学にお招きして学内で表彰式を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令中であるために学内での式典開催が難しく、オンライン上で受賞者と審査員(本学教員および学外審査員)が相互に交流できる場として開催しました。

今回の集いでは、受賞者それぞれの訳文を1ページずつ見て、翻訳においてどのような点で苦労したか、あるいはどの点を工夫したかについて各自が共有し、それに対して



審査員が講評・コメントすることで翻訳に関する学びを深めてきました。

集い終了後も、受賞者たちは熱心に審査員に対して質問を投げかけるなど、オンライン上とはいえ盛況な場となりました。

Topics 13

## 日本初演音源を公開! (音楽学部ウインドオーケストラ)

神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラでは2020年度の集大成として、ハル・レオナード・ヨーロッパの新譜(日本初演)を含めたプログラムで、2月14日(日)にコンサートを企画していました。しかしながら、緊急事態宣言に伴い開催の延期を余儀なくされ、予定していたリハーサルを中断しました。

このような状況下だからこそ、我々は前に進んでいかなくてはなりません。この度、一年間の学生たちの研究

の成果として、出版社から世界初演、日本初演の機会を与えて頂いた3作品の音源を公開しました(下記)。若い世代のエネルギーに満ちたサウンドを、ぜひお聴きください。

オーロラ・ダンス／フィリップ・スパーク  
*Aurora Dances (Philip Sparke)*

エターナル・フレンドシップ／八木澤教司  
*Eternal Friendship (Satoshi Yagisawa)*

クアランティン／トマス・ドス  
*Quarantine (Thomas Doss)*

※本学公式YouTubeチャンネルで公開中

# 中高部の取り組み

Topics from Junior and Senior high school

Topics

## 芸術鑑賞会

本年度の芸術鑑賞会は本校講堂において演劇によるワークショップを計画し、準備しておりました。ところが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽予定を変更し、中学部、高等学部別の2回公演とし、2学年を講堂、残り1学年をリモートで8月4日に実施しました。内容については、前半のパフォーマンスはあらかじめ撮影された動画を映写し、後半は社交館に待機した演出者とリモートによる質疑応答という形で行うことになりました。

劇団『柿食う客』による「高校生のための演劇プロジェクト」として行われた今回のワークショップでは、まずは高校の国語教科書でなじみの深い『羅生門』・『山月記』・『変身』の

## キャンパス見学会

2020年度中学部キャンパス見学会は、当初は11月21日(土)実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況も鑑み、来校者を招かない、完全オンライン型で実施しました。

中高部ホームページ上での事前申し込み、申込者への必要書類郵送のうち、11月19日～



Topics

## 高等学部2年修学旅行報告

高等学部2年は10月5日(月)から8日(木)まで、3泊4日で九州に行って参りました。欠席者もなく、参加生徒は138名、付き添い教員7名、看護師1名、名鉄観光から添乗員3名で、合計146名でした。

1日目は、長崎原爆資料館へ行き、原爆被爆者の山脇佳朗さんによる体験講話を聞きました。2日目、3日目は、班別の長崎自主研修を行い、軍艦島、九十九島、ハウステンボス、長崎市内自由散策などを楽しみました。最終日は太宰府



3作品の朗読と身体表現によるパフォーマンスを鑑賞し、その後劇団の主宰者であり今回の演出者である中屋敷法仁氏による解説と生徒との意見交換を行いました。また後にそのプログラムを収録したDVDが全生徒に配布されました。

生徒たちにとって、演劇という枠を超えて、「表現する」ことについての新鮮な問題提起となつたこと思います。またこのコロナ禍にあって、リモートという新しい手法を試みた場としても意義ある機会であったと考えます。



Topics

## 2020年度人権学習会について

今年度は人権学習会のテーマを「難民と人権」と題し、2学期と3学期に行いました。コロナウイルス感染拡大防止のために6月4日(木)から6月17日(水)まで、奇数組・偶数組に分けて分散登校していた関係で、1学期の6月17日(水)に予定していた人権学習会は中止となりました。2019年度3学期(2月)にカトリック大阪大司教区社会活動センター・シンビスで、長年にわたって難民支援をされている、松浦・デ・ビスカルド篤子先生を教職員人権研修会にお招きして、ご講演くださいました。2020年度1学期はビスカルド先生にお話しいただきたかったので残念でした。



## 校内大会開催

7月27日(月)に高等学部校内大会、7月28日(火)に中学部校内大会が行われました。

コロナ禍での実施ということもあり、高等学部の種目はバスケットボールの代わりに、Catch the tail(しっぽとり)を行い、借り物競争を入れたリレー走が企画されました。中学部の種目はポートボールの代わりにドッジボールを2グループ作り、その他に卓球とリレーを行いました。

試合が終わるごとに使用した用具やボールを消毒し、密を避けるために無観客で行うなど感染予防を徹底し実施しました。制限が多い中での開催となりましたが、生徒たちは勝利を目指し、熱戦を繰り広げていました。

中学部、高等学部ともに体育部長、副部長が中心となり、新種目の導入や予防対策を考え実践してくれました。

Topics

## 文化祭を開催

コロナウイルス感染症の影響で行事が中止になる中で、中高部文化祭が開催できるかも危ぶまれましたが、緊急事態宣言が解除された直後に開催を決め、例年からほぼ3か月遅れで準備を始めました。クラブ活動も分散登校が終了した6月下旬からのスタート、準備時間やリハーサル日程の減少、状況の先行きが見えず、また感染症対策をしながらの準備は変更に次ぐ変更で生徒たちも対応にとても苦労しました。保護者の方々をはじめ外部からのお客様を招くことができず、



学内生のみでの文化祭になり、規模の縮小、講堂に全校生徒が入れずリモートでの鑑賞など制限の多いものとなりましたが、それでも文化祭を精一杯楽しもうとする生徒たちは生き生きと輝いていました。

# 法人の取り組み

Topics from the Educational Foundation

Topics



150周年特設WEBサイト



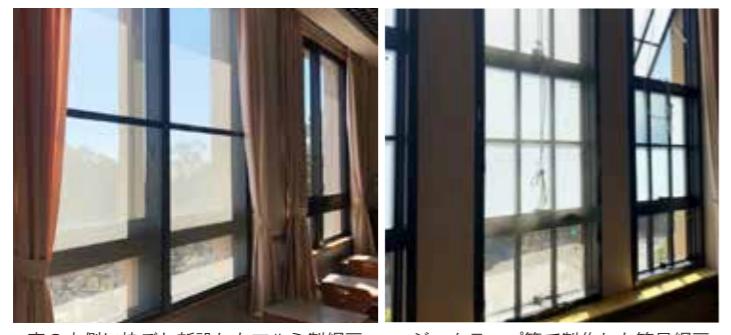
## 学院創立150周年にむけて

2025年の学院創立150周年をひかえ、創立145周年の記念日である2020年10月12日に「150周年特設WEBサイト」を開設し、メッセージ“Bridging Generations”を発信しました。引き続き学生生徒・卒業生等を対象に記念ロゴマークを募集し「メッセージの内容と整合性がとれていること」「未来に向けた躍動感が感じられること」「神戸女学院らしさが感じられること」の3点を基準として選考のうえ、2021年3月に決定・発表しました。今後の広報活動において「神戸女学院150周年」をアピールしてまいります。

Topics

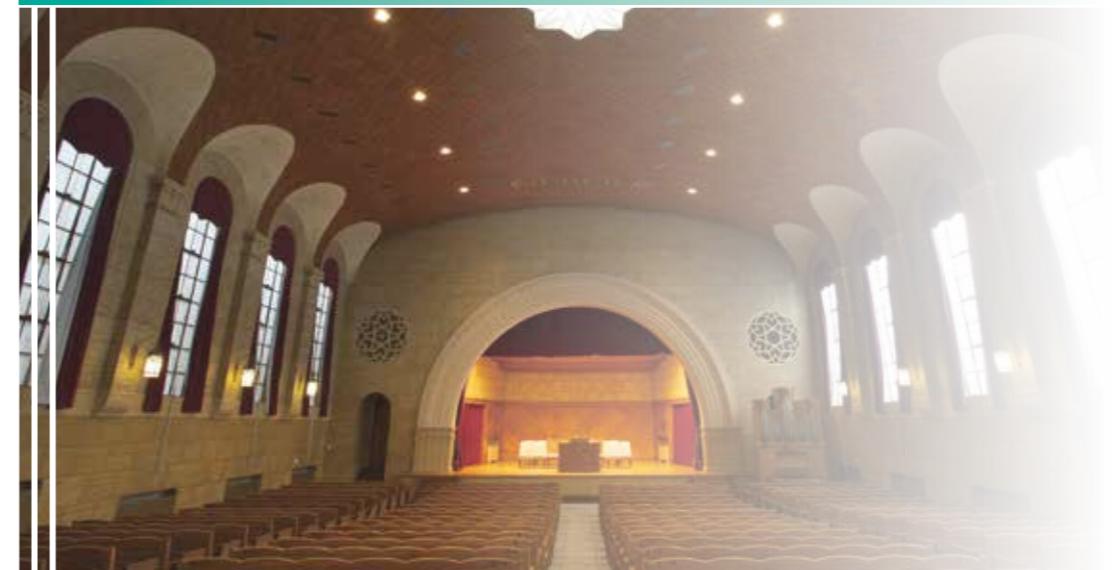
## ウォーリズ設計による 旧室谷邸解体建築部材の活用

神戸市と貸借契約を締結した旧室谷邸(ウォーリズ設計)の解体建築部材の活用として、鉄扉1枚を第一体育館1階に設置しました。あたかも当初材のように空間と調和し、相互に引き立て合うように映ります。



## 新型コロナウィルスの 感染防止のための網戸設置

新型コロナウィルスの感染防止策として窓を開けるために必要となった網戸については大学・中高部の全教室に設置完了しました。



## トイレへの 便座除菌用クリーナーの設置

学生からの要望を受け、各所の洋式トイレ及び多機能トイレに便座除菌用クリーナーを設置しました。結果的に感染症予防対策としても有効となり、学生・生徒が安心して利用できるようになりました。



# 神戸女学院 基本データ



入学定員・収容定員・在籍者数 (2020年5月1日現在)

## 神戸女学院大学

		入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
文学部	英文学科	150	162	600	676
	総合文化学科	200	225	800	938
	計	350	387	1,400	1,614
音楽学部	音楽学科	46	39	186	159
		(編入)1	0		
計		47	39	186	159
人間科学部	心理・行動科学科	90	114	360	449
	環境・バイオサイエンス学科	80	83	320	363
	計	170	197	680	812
大学 計		567	623	2,266	2,585

## 神戸女学院大学

学部名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
文学部	1,619	1,657	1,658	1,637	1,614
音楽学部	185	177	170	170	159
人間科学部	759	792	779	803	812
計(A)	2,563	2,626	2,607	2,610	2,585
定員(B)	2,236	2,246	2,256	2,266	2,266
(A)/(B)	1.15	1.17	1.15	1.15	1.14



## 神戸女学院大学大学院

		入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
文学研究科	英文学専攻	博士前期課程	13	3	26
		博士後期課程	2	0	6
	比較文化学専攻	博士前期課程	5	3	10
		博士後期課程	2	0	6
計		22	6	48	16
人間科学研究科	人間科学専攻	博士前期課程	10	10	20
		博士後期課程	2	0	6
	計	12	10	26	26
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	修士課程	7	10	14
	計	41	26	88	60

## 神戸女学院大学大学院

### 修士・博士前期課程

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
文学研究科	18	21	23	14	14
人間科学研究科	23	22	17	20	23
音楽研究科	17	15	11	12	18
計	58	58	51	46	55

### 博士後期課程

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
文学研究科	2	2	1	3	2
人間科学研究科	4	0	2	4	3
計	6	2	3	7	5

## 神戸女学院中高部

		入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
中学部		135	143	405	437
高等学部 全日制課程 普通科		—	—	405	415
中高部 計		135	143	810	852

## 神戸女学院中高部

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
中学部	424	426	435	437	437
高等学部	403	413	413	414	415
計	827	839	848	851	851



## 志願者数・合格者数・入学者数

## 神戸女学院大学 今年度の傾向

2021年度入試においては、一部の入試制度を除きほとんどの入試制度で大きく志願者が減少しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な入試広報活動が制約されたことも志願者減少の要因の一つになったと考えられ、最終的な入学者数も各学科において目標を下回る結果となりました。

## 神戸女学院大学

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	3,539	4,038	4,284	3,853	2,362
合格者数	1,668	1,377	1,562	1,632	1,270
入学者数	684	627	647	623	479

## 神戸女学院大学大学院

## 修士・博士前期課程

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	39	30	42	46	30
合格者数	29	21	25	28	16
入学者数	28	17	24	26	16

## 博士後期課程

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	1	2	4	1	2
合格者数	1	2	4	0	1
入学者数	1	2	4	0	1

## 入試制度別状況

		志願者数	受験者数	合格者数	実質競争率	
一般選抜	前期A日程	3科目型	262	259	2.1	
		2科目型	402	401	1.9	
		音楽学科	21	20	1.0	
	前期B日程		318	314	2.0	
	前期C日程		181	116	2.0	
	前期D日程	共通テスト1科目型	69	30	2.3	
大学入学共通テストを利用する入学試験	前期日程	共通テスト2科目型	41	14	2.0	
		2科目型	106	106	1.9	
		3科目型	146	146	1.5	
	後期日程	4科目型	50	50	1.9	
		2科目型	12	12	2.0	
		3科目型	9	9	1.5	
		4科目型	12	12	1.5	
一般選抜 後期日程		39	35	20	1.8	
学校推薦型選抜(公募制)		454	441	235	1.9	
総合型選抜		33	32	30	1.1	
帰国子女入学試験		2	1	1	1.0	
社会人入学試験		1	1	0	0.0	
外国人留学生入学試験		1	1	1	1.0	
編入学試験		0	—	—	—	
国際バカロレア入学試験		1	1	1	1.0	

## 神戸女学院中学部 今年度の傾向

新型コロナ禍の緊急事態が続いたこの1年、2021年度入試が無事終えられるのかが最大の不安でありました。蓋を開けてみれば、志願者は昨年より25名増、一昨年より9名増となり、万全のコロナ禍対策の下、体調不良者もなく、全てにおいて順調に入試を終える事ができました。入試自体の傾向では、遠隔地からの受験者数、受験者層など、ほぼ例年どおりだったといえるでしょう。

## 神戸女学院中高部

中学部		高等学部				
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
志願者数	260	249	262	240	272	
合格者数	158	159	155	153	154	
入学者数	143	149	145	143	145	
転入学者数	—	—	—	—	—	
編入学者数	1	—	—	—	—	

\*高等学部 全日程課程 普通科 募集なし



## 留学状況

## 神戸女学院大学・神戸女学院大学大学院の留学について

2020年度は、残念ながらコロナ禍によってほとんど全ての国際交流関連事業が中止を余儀なくされました。派遣留学／中期英語留学／中期海外研修は予定者全員が出発できないまま現在に至っています。中には卒業時期や就職活動との兼ね合いによって留学を断念した学生もあり、本当に断腸の思いです。留学を延期した学生たちも、2021年度の留学が決定した学生たちも実際に渡航できるのかまだ定かではありません。また、海外の協定校からの留学生受け入れや夏期／春期語学研修も中止となりました。

そのような状況の中、現在代替手段としてオンライン留学を検討しています。2020年度春期に米国ほか複数の協定校でのオンライン語学研修をトライアルで実施したほか、2021年3月から学生1名がモーツアルテウム音楽大学にオンライン認定留学しています。

2021年度はもちろん留学生派遣・受け入れの再開を願っていますが、同時にオンラインを活用することで新しい留学・語学研修・国際交流のスタイルを模索していきたいと考えています。

## 神戸女学院中高部

## 本学から海外へ

プログラム	学校名	国名	人数
交換留学			
		計	0

## 本学から海外へ

国名	人数
マレーシア	1
計	1



## 卒業・修了・博士後期課程単位取得退学、博士学位授与の状況

### 神戸女学院大学

	文学部		音楽学部	人間科学部			計
	英文学科	総合文化学科	音楽学科	心理・行動科学科	環境・ バイオサイエンス 学科		
2016年度	154	214	50	90	84	592	
2017年度	167	216	32	95	95	605	
2018年度	171	214	48	87	88	608	
2019年度	168	223	44	97	79	611	
2020年度	162	225	45	108	89	629	

\*前期末(当該年度9月) 卒業を含む



### 神戸女学院大学大学院

#### 修士・博士前期課程

	文学研究科		音楽研究科	人間科学研究科	計
	英文学専攻	比較文化学専攻	音楽芸術表現専攻	人間科学専攻	
2016年度	5	1	9	10	25
2017年度	4	0	8	11	23
2018年度	8	2	6	9	25
2019年度	5	1	4	7	17
2020年度	4	3	7	11	25

\*前期末(当該年度9月) 卒業を含む

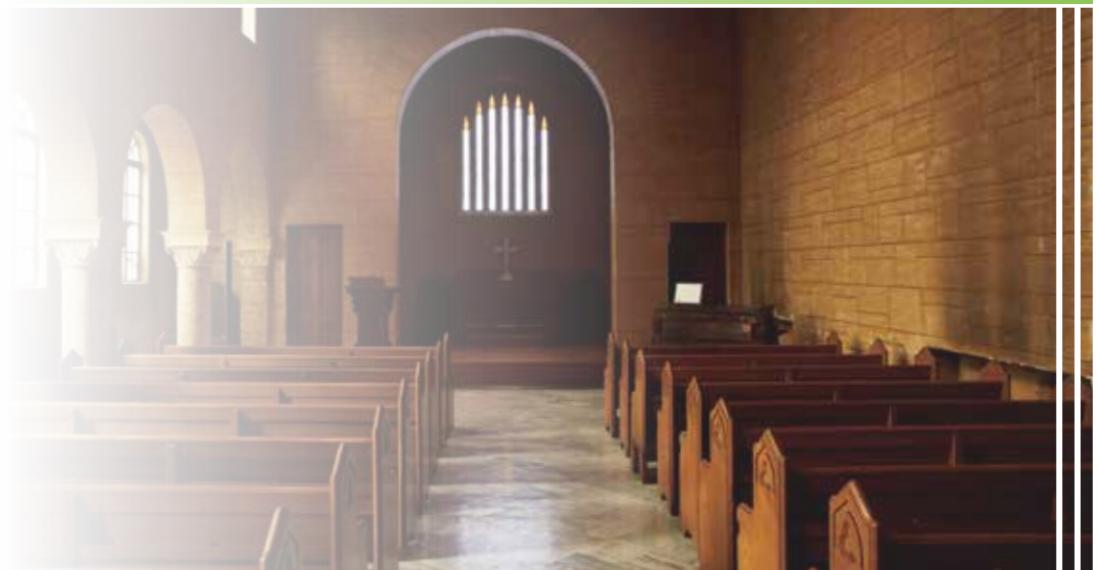
#### 博士後期課程

##### 博士後期課程単位取得退学

	文学研究科		人間科学 研究科	計
	英文学 専攻	比較文化学 専攻	人間科学 専攻	
2016年度	1	—	3	4
2017年度	1	—	—	1
2018年度	—	—	—	0
2019年度	1	—	—	1
2020年度	—	—	—	0

##### 博士学位授与

	文学研究科		人間科学 研究科	計
	英文学 専攻	比較文化学 専攻	人間科学 専攻	
2016年度	1	—	—	1
2017年度	—	—	—	0
2018年度	—	—	—	0
2019年度	—	—	—	0
2020年度	—	—	—	0
博士後期課程 設置当初から の累計	9	2	13	24



### 神戸女学院中高部

	中学部	高等学部
2016年度	140	128
2017年度	139	138
2018年度	142	134
2019年度	143	139
2020年度	149	136



## 就職・進学状況

### 神戸女学院大学

2020年度の就職活動は新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン採用に移行するなど学生も企業も大きく振り回された年になりました。留学や課外活動であるアルバイト、部活動が大きく制限され、学生自身がアピールしたい事柄も大きく見直さざるを得ない状況になりました。その中で、当年度の就職率(就職希望者に対する就職者の比率)は98.5%で、前年度を0.2ポイント下回りましたが、コロナ禍の中で前年度並みの数値を確保できました。産業別では運輸業・郵便業が激減し、情報通信業、医療・福祉の比率が増加しました。大学院進学者数は23名となり昨年よりわずかに増加しました。

### 主な就職先(2021年3月卒業生)

建設業	運輸業、郵便業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	教育、学習支援業	医療、福祉	卸売業、小売業	サービス業	公務	不動産業	金融業、保険業	備考
一条工務店	こうきん中央機関グループ	同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科	近鉄・都ホテルズ	公益財団法人大阪YMCA	独立行政法人労働者健康安全機構	アズワン	アース環境サービス	法務省大阪矯正管区	住友不動産販売	りそな銀行	● 前期末卒業を含まない
積水ハウス	旭川信用金庫	神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科	ジェイアール西日本	東京海上日動火災保険	三井住友海上火災保険	伊丹産業	一般社団法人日本自動車連盟	国税庁大阪国税局	セキスイハイム近畿	イオン銀行	● 就職者／自営業主等(音楽講師等、自営とみなした者を含む)
大和ハウス工業	尼崎信用金庫	兵庫教育大学大学院 教育研究科	パッセンジャーズ	三井ダイレクト損害保険	住友生命保険	伊藤忠建材	京都都市農業協同組合	北海道	積水ハウス不動産関西	三井住友信託銀行	常用労働者(無期雇用労働者、フルタイム勤務相当の有期雇用労働者)
日建設計	淡路信用金庫	神戸女学院大学大学院 文学研究科	西兵庫信用金庫	三井ダイレクト損害保険	第一生命保険	川重商事	いづみの農業協同組合	紀宝町	日住サービス	北陸銀行	● 社名は、変更されている場合があります
ヤマダホームズ	西日本信用金庫	関西大学大学院 会計研究科	日新信用金庫	全国農業協同組合連合会	明治安田生命保険	ケオーデンタル	大阪北部農業協同組合	大阪府	日本空港ビルディング	清水銀行	
製造業	辰巳商會	神戸女学院大学大学院 音楽研究科	播州信用金庫	山口県本部	メットライフ生命保険	サンセイテクノス	エイチアールワン	大阪府警察	阪急阪神ビルマネジメント	池田泉州銀行	
アース製薬	東ソー物流	ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科	ホテルオークラ神戸	山口県本部	トヨタモビリティパーク	とぴあ浜松農業協同組合	大阪大溝宮	大阪市	百十四銀行	関西みらい銀行	
アイシン・エィ・ダブリュ工業	西日本旅客鉄道	環境・バイオサイエンス学科	三井不動産ホテルマネジメント	全国農業協同組合連合会	日伝	トヨタモビリティパーク	全国農業協同組合連合会	大阪市	香川銀行	紀陽銀行	
明石スクール	日立物流西日本	英文学科	三井住友海上アシスタンス	村中医療器	メディセオ	auフィナンシャルサービス	大阪北部農業協同組合	兵庫県	USEN-NEXT HOLDINGS	中国銀行	
ユニフォームカンパニー	富士貿易	総合文化学科	東京海上アシスタンス	大阪南農業協同組合	リョーサン	MS & AD事務サービス	兵庫六甲農業協同組合	兵庫県		北陸銀行	
朝日スチール工業	ユニエックスNCT	音楽学科	三井住友	兵庫六甲農業協同組合	大阪トヨペット	トラスト・ビジネスサービス	福山市農業協同組合	宝塚市		清水銀行	
出光興産	日本郵便	心理・行動科学科	トラスト・ビジネスサービス	福山市農業協同組合	関西マツダ	神戸マツダ	一般社団法人日本自動車連盟	神河町		池田泉州銀行	
大阪シーリング印刷		環境・バイオサイエンス学科	神戸マツダ	コープこうべ	コープこうべ	コープこうべ	京都都市農業協同組合	土庄町		関西みらい銀行	
オリエンタル酵母工業		2016年度(2017年3月卒業生)	神戸マツダ	日産大阪販売	兵庫日産	ホンダ北大阪	いづみの農業協同組合	大阪府		紀陽銀行	
オリエンタルモーター		2017年度(2018年3月卒業生)	神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪北部農業協同組合	大阪市		中国銀行	
キトー		2018年度(2019年3月卒業生)	神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市		香川銀行	
小松製作所		2019年度(2020年3月卒業生)	神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市		百十四銀行	
サラヤ		2020年度(2021年3月卒業生)	神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
参天製藥			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ジャヴァコーポレーション			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
スズキ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
住友電気工業			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ダイキン工業			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ダイハツディーゼル			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
TASAKI			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
新田ゼラチン			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
日本庄着端子製造			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ハイレックスコーポレーション			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
富士通			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
湯山製作所			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
吉野石膏			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
淀川製鋼所			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ローム			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
ワコール			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
情報通信業			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
エヌ・ティ・ティネオメイト			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
NECソリューションイノベータ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
キヤノンITソリューションズ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
さくらケーシーエス			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
CBCテレビ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
スポーツニッポン新聞社			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
住友電工情報システム			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
T&D情報システム			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
デル・テクノロジーズ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
東京海上日動システムズ			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
富士通エフサス			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
富士電機ITソリューション			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			
USEN-NEXT HOLDINGS			神戸マツダ	兵庫日産	兵庫日産	ホンダ北大阪	大阪南部農業協同組合	大阪市			

### 備考

- 前期末卒業を含まない
- 就職者／自営業主等(音楽講師等、自営とみなした者を含む)  
常用労働者(無期雇用労働者、フルタイム勤務相当の有期雇用労働者)
- 社名は、変更されている場合があります

### 神戸女学院大学

#### 主な進学先(2021年3月卒業生)

学校名
英文学科
同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科
神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科
兵庫教育大学大学院 教育研究科
総合文化学科
神戸女学院大学大学院 文学研究科
関西大学大学院 会計研究科
音楽学科
神戸女学院大学大学院 音楽研究科
心理・行動科学科
神戸女学院大学大学院 人間科学研究科
大阪大学大学院 人間科学研究科
ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科
環境・バイオサイエンス学科
神戸女学院大学大学院 人間科学研究科
東北大学大学院 生命科学研究科
上智大学大学院 地球環境学研究科
大阪大学大学院 生命機能研究科
神戸大学大学院 農学研究科
兵庫県立大学大学院 情報科学研究科

#### 年度毎の就職決定状況

	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職決定者／進学者数(大学院)	決定者／(卒業者 院進学者)
<b>2016年度(2017年3月卒業生)</b>					
英文	152	137	135	98.5%	8 93.8%
総合文化	209	191	188	98.4%	3 91.3%
音楽	50	21	21	100%	7 48.8%
心理・行動	90	82	81	98.8%	6 96.4%
環境・バイオサイエンス	83	74	7		



## 役員・評議員 (2020年5月1日現在)

## 理事

第1号理事
院長(理事長) ▶ 定員1名、現員1名 飯 謙

第6号理事
コーポレーション※2 推薦 理事会選任 ▶ 定員3名、現員3名 伊藤 栄子

第2号理事
学長 ▶ 定員1名、現員1名 斎藤 言子

第3号理事
中高部長 ▶ 定員1名、現員1名 森谷 典史

第4号理事
めぐみ会※1 推薦会員で理事会選任 ▶ 定員3名、現員3名 永井 敬子 和氣 節子 松本 真千子

第7号理事
理事会選任学識経験者 ▶ 定員4名、現員4名 柴谷 享一郎 菅根 信彦 桂 充弘 橋本 恵里子

第5号理事
評議員会選任 ▶ 定員2名、現員2名 伊藤 良子 皆本 礼子

監事
▶ 定員2名、現員2名 下村俊子 梅田玲子

※1 めぐみ会  
正式名称「公益社団法人神戸女学院めぐみ会」は、キリストの教えに基づく神戸女学院の立学の精神を重んじて、その教育の振興を助成し、会員の教養を高め相互の親睦を図るとともに、社会に貢献することを目的とした組織です。めぐみ会の主たる会員は、神戸女学院が設置した学校の卒業生です。(在校生は準会員)

※2 コーポレーション  
[Kobe College Corporation-Japan Education Exchange]は、神戸女学院の維持管理と資金のためにアメリカ合衆国イリノイ州シカゴに設立された財団であり、1920年の設立時より現在に至るまで本学院のための資金活動を続け、現在では主に、中高部英語教員や大学客員教員の派遣、本学生への海外インターンシップの機会提供、奨学金などの支援を行っています。

## 教職員 (2020年5月1日現在)

## 在籍教職員数

	教授	准教授	専任教師	助教	任期制教員	特任教授	特任助教	客員教員	客員研究員	特別客員	計
英文学科	9	7	1	0	0	0	0	0	0	0	17
総合文化学科	14	9	2	0	0	1	0	0	0	0	26
音楽学科	7	4	0	0	3	0	0	2	0	1	17
心理・行動科学学科	5	5	0	0	1	0	0	0	0	0	11
環境・バイオサイエンス学科	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11
一般(体育)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
共通英語教育研究センター	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
計	45	27	5	0	4	2	0	2	0	1	86

	教諭
高等学部	24
中学部	18
計	42

	専任教務職員	専任労務職員	契約職員	計
法人	19	0	2	21
大学	51	0	5	56
中高部	5	0	0	5
計	75	0	7	82

	嘱託事務職員	嘱託教学職員	計
週5日	0	0	0
週4日	3	9	12
週3日	1	2	3
週2日	0	5	5
週1日	0	0	0
計	4	16	20

## 在籍教職員数

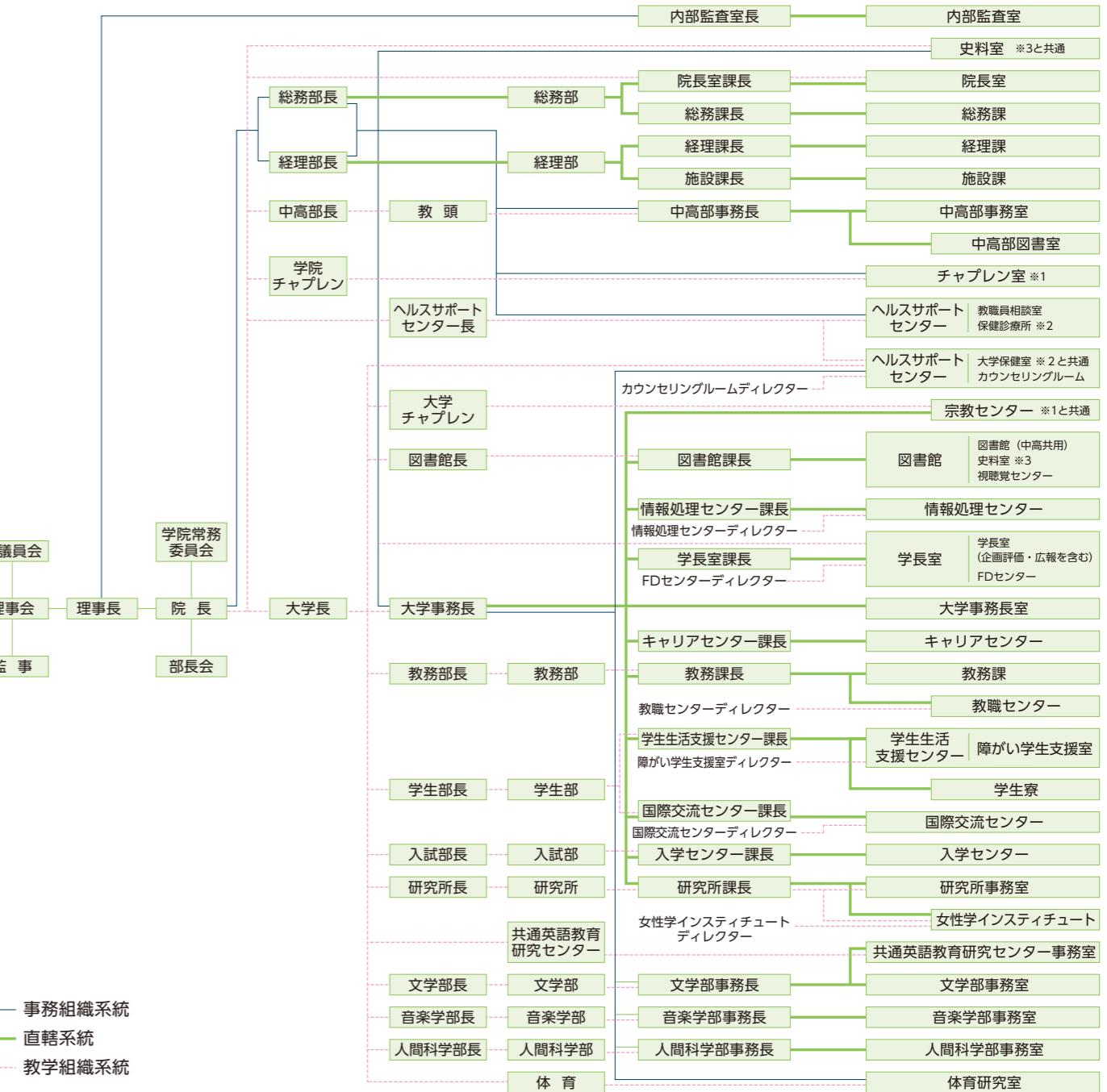
	専任教員	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学	非常勤講師	317	309	362	362	351
	大学計	406	400	446	448	437
中高部	専任教員	40	42	43	43	42
	非常勤講師	16	16	23	25	27
	中高部計	56	58	66	68	69
	計	462	458	512	516	506

法人	専任職員*	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	嘱託職員	25	22	22	20	20
	計	102	97	101	104	102

※契約職員含む



## 事務組織図 (2020年5月1日現在)



# 財務の概要 - 2020年度決算 -

## 学校法人会計とは

学校法人とは、学校教育法及び私立学校法の定めるところにより、私立学校の設置を目的として設立された法人です。企業は営利追求を目的としますが、学校法人は永続的な教育研究活動という極めて公共性の高い事業遂行を目的としており、今後の活動を継続的かつ安定的に遂行するため、収支の均衡状況や財政状態を正確に捉えることが重要となります。このように、学校法人と企業とは目的が異なるため、学校法人は企業会計基準とは別の会計基準が必要となります。

一方、国または地方公共団体より補助金の交付を受ける学校法人は、経理内容の透明性・信頼性を確保すべく、「私立学校振興助成法」において、文部科学大臣の定める基準に従い計算書類を作成し、外部監査を受けて所轄庁へ届出することが義務付けられています。

このように、学校法人の目的に合致し、私学助成を受ける学校法人が遵守すべき統一的な会計処理基準として「学校法人会計基準」が定められています。これに従い、本学院も「事業活動収支計算書」「資金収支計算書」「貸借対照表」などの計算書類を作成し公開しています。

## 2020年度決算について

2020年度は、コロナ禍の中、学生への緊急支援給付金の給付等、緊急の奨学事業を優先的に行いました。一方で経費節減に努めましたが、経常収支差額の黒字確保はできませんでした。

今後も教育目標を達成するための教育の場であり続けるため、財政基盤・収支構造の強化を図ることが課題となります。

## 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、③その他の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を示し、すべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。2020年度の事業活動収支計算書の概要は以下の通りです。

## 教育活動収支差額

教育活動収入は、学校法人の本業である教育活動からの収入です。2020年度の教育活動収入は、50億44百万円で、前年度比95百万円

の増加となりました。内訳をみると、学生生徒等納付金41億33百万円は、ほぼ前年度並みです。2020年度から開始された高等教育の修学支援制度による授業料等減免費交付金90百万円の影響により、経常費等補助金5億43百万円は前年度比1億2百万円の増加となりました。寄付金80百万円は、奨学基金への寄付の増加により前年度比9百万円の増加となりました。一方、入学検定料の減少により手数料は68百万円で前年度比30百万円の減少、学生寮閉寮により付随事業収入は16百万円で前年度比47百万円の減少となりました。また、私立大学退職金財団等交付金の増加及び雇用調整助成金等により、雑収入は2億4百万円となり、前年度比61百万円の増加となりました。

教育活動支出は、学校法人の本業である教育活動に関する支出です。2020年度の教育活動支出は、51億2百万円で前年度比1億74百万円の増加となりました。内訳をみると、人件費31億48万円は前年度比50百万円の増加となりました。教育研究経費は16億27百万円で前年度比1億15百万円の増加となりました。これは、コロナ禍の中、原則、遠隔授業の実施となったことにより、光熱水費や旅費交通費は減少したものの、緊急支援給付金1億26百万円、修学支援制度による学費減免額90百万円などにより、奨学費が2億78百万円と、前年度比2億41百万円の増加となった影響によるものです。管理経費3億26百万円は前年度比8百万円の増加となりました。

以上の結果、教育活動収支差額は58百万円の赤字となりました。前年度比では20百万円の黒字から78百万円の減少となっています。

## 経常収支差額

経常収支差額は、教育活動収支差額に主に財務活動の収支である教育活動外収支差額を加算した額です。2020年度の教育活動外収支差額は、金銭信託等の運用により25百万円の黒字となりました。その結果、経常収支差額は33百万円の赤字となり、前年度比では、1億5百万円の黒字から1億38百万円の減少となりました。

## 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額に特別収支差額3百万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、29百万円の赤字となり、前年度比では、1億42百万円の黒字から1億71百万円の減少となりました。

2020年度の基本金組入額合計は、20百万円で、隣地を取得した前年度に比較して4億76百万円の減少となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引いた当年度収支差額は、49百万円の赤字となり、前年度比では、3億54百万円の赤字から、3億5百万円の赤字幅縮小となりました。

## 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

科目	本年度予算	本年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
<b>事業活動収入の部</b>				
学生生徒等納付金	4,131	4,133	4,133	1
手数料	67	68	97	△30
寄付金	72	80	72	9
経常費等補助金	518	543	441	102
付随事業収入	16	16	63	△47
雑収入	193	204	143	61
教育活動収入計	4,997	5,044	4,949	95
<b>事業活動支出の部</b>				
人件費	3,154	3,148	3,098	50
教育研究経費	1,665	1,627	1,512	115
管理経費	313	326	318	8
徴収不能額等	2	1	1	0
教育活動支出計	5,134	5,102	4,929	174
教育活動収支差額	△137	△58	20	△78
<b>事業活動収入の部</b>				
受取利息・配当金	26	26	86	△59
その他の教育活動外収入	0	0	0	0
教育活動外収入計	26	26	86	△59
<b>事業活動支出の部</b>				
借入金等利息	1	1	1	△0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0
教育活動外支出計	1	1	1	△0
教育活動外収支差額	25	25	85	△59
経常収支差額	△112	△33	105	△138
<b>事業活動収入の部</b>				
資産売却差額	0	0	14	△14
その他の特別収入	14	14	33	△19
特別収入計	14	14	47	△33
<b>事業活動支出の部</b>				
資産処分差額	8	11	10	0
その他の特別支出	0	0	0	0
特別支出計	8	11	10	1
特別収支差額	6	3	37	△34
基本金組入前当年度収支差額	△106	△29	142	△171
基本金組入額合計	△34	△20	△496	476
当年度収支差額	△140	△49	△354	305
前年度繰越収支差額	△1,652	△1,652	△1,299	△353
基本金取崩額	123	115	0	115
翌年度繰越収支差額	△1,670	△1,587	△1,652	66

(参考)

事業活動収入計	5,037	5,085	5,082	3
事業活動支出計	5,143	5,114	4,940	174

## 教育活動収支

経常的な収支のうち、本業である教育研究活動の収支。

## 教育活動外収支

主に財務活動(資金調達と資産運用に係る活動)の収支。

## 経常収支差額

経常的な事業活動による収入(経常収入)とコスト(経常支出)の収支差額(バランス)。

## 特別収支

特殊要因による臨時の事業活動収入(施設設備取得に対する補助金等)や資産売却損益等。

## 基本金組入前当年度収支差額

旧帰属収支差額。単年度における事業活動全体の収支差額。

## 基本金組入額合計

学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額。

## 当年度収支差額

旧消費収支差額。基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した額。長期的収支バランスの判断指標。

## 前年度繰越収支差額

翌年度繰越収支差額

当年度収支差額の累積額。

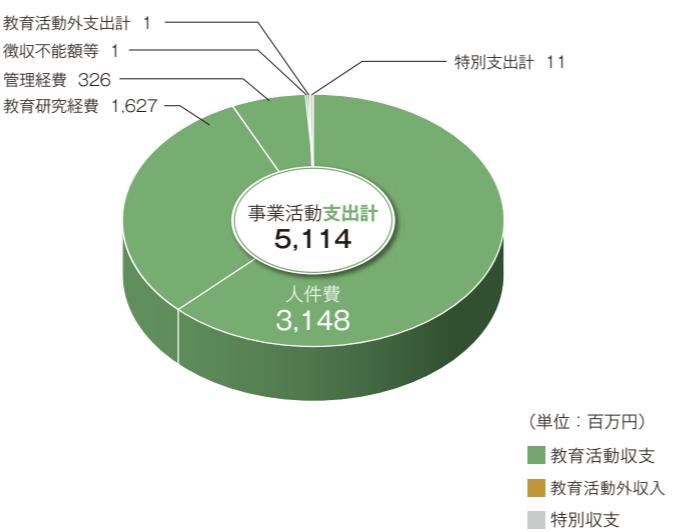
## 事業活動収入

旧帰属収入。借入金収入や前受金収入等の負債となる収入を除いた正味の収入(現物寄付を含む)。

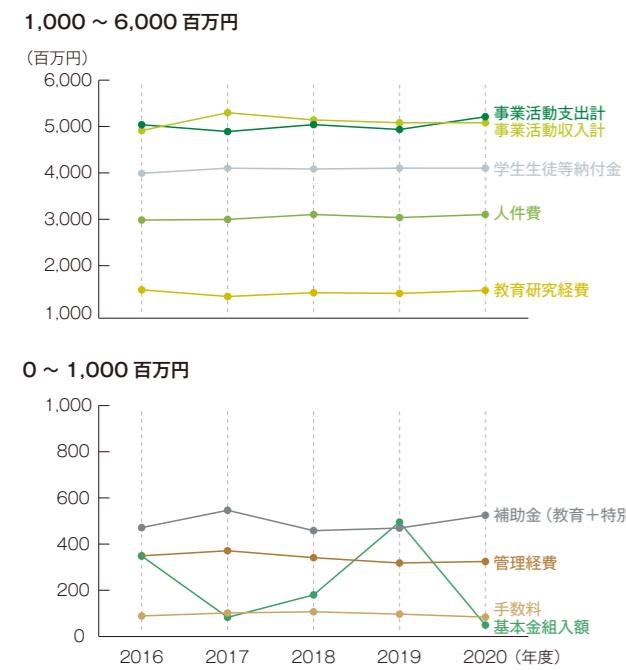
## 事業活動支出

旧消費支出。資金支出のない減価償却費や資産処分差額等も含まれ、学校法人の正味の費用。

## 事業活動収支の内訳



事業活動収支推移(収入・支出)					
科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業活動収入	4,918	5,291	5,141	5,082	5,085
事業活動支出	5,039	4,898	5,043	4,940	5,114
基本金組入額	349	84	180	496	20
学生生徒等納付金	4,024	4,131	4,114	4,133	4,133
手数料	90	103	108	97	68
補助金(教育+特別)	471	547	459	469	556
人件費	3,047	3,060	3,163	3,098	3,148
教育研究経費	1,586	1,447	1,528	1,512	1,627
管理経費	350	371	341	318	326



事業活動収支推移(収支差額)					
科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支差額	△ 142	195	25	20	△ 58
教育活動外収支差額	50	143	53	85	25
経常収支差額	△ 93	338	78	105	△ 33
特別収支差額	△ 28	56	20	37	3
基本金組入前 当年度収支差額	△ 121	394	98	142	△ 29
当年度収支差額	△ 470	310	△ 82	△ 354	△ 49

## 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金(現預金)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。事業活動収支計算書と資金収支計算書はその作成目的が異なるため、事業活動収支計算書では資金の出入りを伴わない項目も計上されますが、資金収支計算書では資金の出入りが反映されます。例えば、有価証券の売却を行った場合、事業活動収支計算書では、売却収入と有価証券の簿価(有価証券の取得価額)の差額が資産売却差額(または資産処分差額)として計上されますが、資金収支計算書では、売却収入額が計上されます。2020年度の資金収支計算書の概要は以下の通りです。

### 資金収支計算書

#### 収入の部

科目	本年度 予算	本年度 決算(A)	前年度 決算(B)	増減 (A)-(B)
学生生徒等納付金収入	4,131	4,133	4,133	1
手数料収入	67	68	97	△ 30
寄付金収入	72	80	71	8
補助金収入	532	556	469	87
資産売却収入	400	400	421	△ 21
付随事業・収益事業収入	16	16	63	△ 47
受取利息・配当金収入	26	26	86	△ 59
雑収入	193	204	127	77
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	671	559	682	△ 123
その他の収入	208	1,585	2,110	△ 526
資金収入調整勘定	△ 818	△ 836	△ 777	△ 59
前年度繰越支払資金	3,347	3,347	3,118	229
収入の部合計	8,845	10,138	10,601	△ 463

(参考)

収入の部合計 -前年度繰越支払資金	5,499	6,791	7,483	△ 692
----------------------	-------	-------	-------	-------

#### 支出の部

科目	本年度 予算	本年度 決算(A)	前年度 決算(B)	増減 (A)-(B)
人件費支出	3,147	3,144	3,094	50
教育研究経費支出	1,345	1,307	1,188	119
管理経費支出	287	300	290	9
借入金等利息支出	1	1	1	△ 0
借入金等返済支出	13	13	13	0
施設関係支出	60	57	414	△ 357
設備関係支出	102	96	85	12
資産運用支出	215	1,601	2,102	△ 501
その他の支出	126	128	196	△ 68
資金支出調整勘定	△ 121	△ 172	△ 129	△ 44
翌年度繰越支払資金	3,671	3,663	3,347	317
支出の部合計	8,845	10,138	10,601	△ 463

(参考)

支出の部合計 -翌年度繰越支払資金	5,175	6,475	7,254	△ 780
----------------------	-------	-------	-------	-------



#### 収入の部

以下、2020年度の資金収支の収入の部について説明しますが、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

資産売却収入には、有価証券の売却収入2億円および有価証券の償還収入2億円が計上されています。借入金等収入は2020年度もありませんでした。前受金収入は、新入生の減少により、5億59百万円となり、前年度比1億23百万円の減少となりました。また、その他の収入は、退職給与引当特定資産の振替に伴う特定資産取崩収入13億96百万円を中心に15億85百万円となり、前年度比5億26百万円の減少となりました。

前期末前受金及び期末未収入金(資金収入調整勘定)を控除し、前年度繰越支払資金を加算した収入の部合計は、101億38百万円となり、前年度比では4億63百万円の減少となっています。

#### 支出の部

次に、2020年度の支出の部について説明します。収入の部同様に、事業活動収支計算書と重複する部分は、前述の事業活動収支計算書をご覧ください。

借入金等返済支出は、約定返済により、2020年度も前年度と同額の13百万円となりました。施設関係支出は、既存施設の改修工事を中心に57百万円となり、隣地を取得した前年度比で3億57百万円の減少となりました。設備関係支出は、証明書発行機の新規購入等により96百万円となり、前年度比では12百万円の増加となっています。資産運用支出は、退職給与引当特定資産の資産の振替に伴う繰入支出14億円、および有価証券購入支出2億円を含む16億1百万円となり、前年度比では5億1百万円の減少となりました。前期末前払金及び期末未払金(資金支出調整勘定)を控除し、翌年度繰越支払資金を加算した支出の部合計は、101億38百万円で、前年度比では4億63百万円の減少となりました。

## 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の財政状態(運用形態と調達源泉)を明らかにするものです。

2020年度の貸借対照表の概要は次の通りです。

### 貸借対照表

資産の部			
科目	本年度末(A)	前年度末(B)	増減(A)-(B)
固定資産	14,914	15,440	△ 527
有形固定資産	8,415	8,605	△ 190
土地	1,692	1,692	0
建物	3,765	3,912	△ 147
構築物	421	450	△ 29
教育研究用機器備品	427	456	△ 30
管理用機器備品	35	29	6
図書	2,075	2,065	10
車両	1	1	△ 0
特定資産	6,345	6,445	△ 100
第3号基本金引当特定資産	1,603	1,708	△ 105
退職給与引当特定資産	1,429	1,425	4
減価償却引当特定資産	3,137	3,137	0
岡田山建築保存引当特定資産	176	176	1
その他の固定資産	153	390	△ 237
電話加入権	4	4	0
ソフトウェア	19	32	△ 13
有価証券	0	200	△ 200
差入保証金	4	4	0
出資金	21	21	0
貸与奨学金	105	129	△ 24
その他	0	0	0
流動資産	3,830	3,422	408
現金預金	3,644	3,328	316
修学旅行費預り資産	19	19	1
未収入金	155	60	94
前払金	12	14	△ 2
資産の部合計	18,744	18,862	△ 118

### 資産の部

2020年度末の固定資産は、149億14百万円となり、前年度比5億27百万円の減少となりました。前年度比減少の要因は、主に、固定資産の減価償却3億46百万円のほか、第3号基本金取崩に伴う第3号基本金引当特定資産の取崩1億5百万円、有価証券2億円の満期償還によるものです。

2020年度末の流動資産は38億30百万円となり、前年度比では、現金預金の増加を中心に、4億8百万円の増加となりました。

2020年度末の資産の部合計は、187億44百万円で、前年度比1億18百万円の減少となりました。

### 負債の部

2020年度末の固定負債は、15億73百万円となり、前年度比9百万円の減少となりました。これは、主に、私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が約定返済により13百万円の減少となったことによるものです。

2020年度末の流動負債は、8億62百万円となり、前年度比80百万円の減少となりました。これは、主に、新入生の減少により、前受金が前年度より1億23百万円減少し、5億59百万円となつたことによるものです。

2020年度末の負債の部合計は、24億36百万円となり、前年度比89百万円の減少となりました。

### 純資産の部

2020年度末の基本金は、178億95百万円となり、前年度比95百万円の減少となりました。前年度比減少の要因は、第1号基本金\*が100万円増加したものの、クローバー奨学基金の取崩により第3号基本金\*\*が1億5百万円減少したことによるものです。

2020年度末の繰越収支差額は△15億87百万円となり、前年度比で、事業活動収支における当年度収支差額(△49百万円)と基本金取崩額(1億15百万円)の合計額相当額分(66百万円)、マイナス幅が縮小しております。

\* 第1号基本金は、学校法人が設立当初に取得した教育の用に供される固定資産および教育の充実向上のために取得した固定資産の額となっています。  
\*\* 第3号基本金は、基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額となっています。

負債の部			
科目	本年度末(A)	前年度末(B)	増減(A)-(B)
固定負債	1,573	1,582	△ 9
長期借入金	144	157	△ 13
退職給与引当金	1,429	1,425	4
流動負債	862	942	△ 80
短期借入金	13	13	0
未払金	162	118	44
前受金	559	682	△ 123
預り金	109	111	△ 2
修学旅行費預り金	19	19	1
負債の部合計	2,436	2,524	△ 89

(単位:百万円)

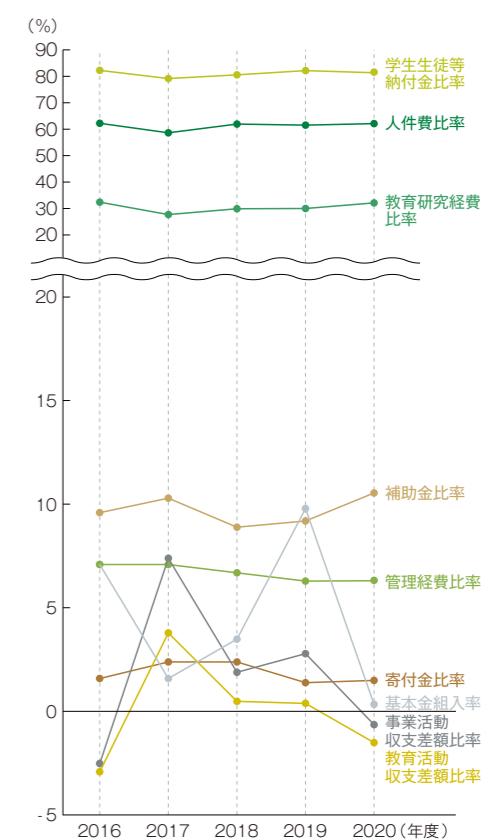
## 財務比率の推移

過去5年間の事業活動収支計算書、貸借対照表の財務諸比率の推移は次の通りです。

(財務諸比率は単位未満を四捨五入して表示しています)

### 事業活動収支計算書関係比率

比率名	計算式	評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均	同規模平均
人件費比率	人件費 経常収入	▼	62.2	58.6	61.9	61.5	62.1	53.2	51.9
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	△	32.4	27.7	29.9	30.0	32.1	33.5	36.7
管理経費比率	管理経費 経常収入	▼	7.1	7.1	6.7	6.3	6.4	8.9	8.1
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	-	82.2	79.1	80.5	82.1	81.5	75.1	54.5
寄付金比率	寄付金 事業活動収入	△	1.6	2.4	2.4	1.5	1.6	2.1	2.2
補助金比率	補助金 事業活動収入	△	9.6	10.3	8.9	9.2	10.9	12.2	11.8
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	△	-2.9	3.8	0.5	0.4	-1.2	2.6	1.8
事業活動収支差額比率	事業活動収支差額 事業活動収入	△	-2.5	7.4	1.9	2.8	-0.6	4.7	4.9
基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	△	7.1	1.6	3.5	9.8	0.4	10.9	10.4

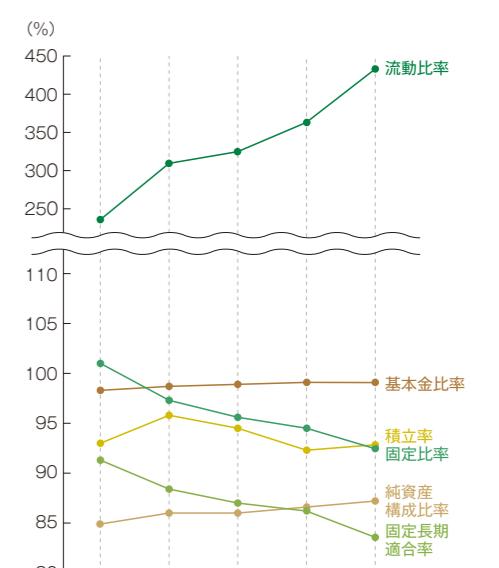


- (注)1. 評価欄は「△:高い値が良い」「▼:低い値が良い」「-:どちらともいえない」を示しています。  
(日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」、日本私立大学連盟「新学校法人会計基準の財務比率に関するガイドライン」を参考に記載。以下同じ。)  
2. 経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計  
3. 平均値は2019年度決算の平均値であり、全国平均は医歯系法人を除く全国513大学法人の平均値、同規模平均は学生生徒数3~5千人規模の全国112大学法人の平均値を示しています。

### 貸借対照表関係比率

比率名	計算式	評価	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均	同規模平均
流動比率	流動資産 流動負債	△	236.0	309.6	324.9	363.1	444.1	251.8	278.3
固定比率	固定資産 純資産	▼	101.0	97.3	95.6	94.5	91.5	98.7	96.6
固定長期適合率	固定資産 純資産+固定負債	▼	91.3	88.4	87.0	86.2	83.4	91.5	89.7
基本金比率	基本金 基本金組入額	△	98.1	98.5	98.8	98.9	99.0	97.2	97.4
純資産構成比率	純資産 総負債+純資産	△	84.9	86.0	86.0	86.6	87.0	87.8	87.7
積立率	運用資産 要積立額	△	93.0	95.8	94.5	92.3	91.6	78.5	70.3

- (注)1. 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券  
要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金



# 中期計画

2021 – 2025年度

(2021年3月24日 理事会承認)

## はじめに

神戸女学院は1875年の創立以来、「キリスト教主義」、「国際理解の精神」、「リベラルアーツ教育」を軸とする少人数制の女性教育によって、才氣あふれる卒業生を輩出してまいりました。わたくしたちはこれからも、時代と対話しつつ、永久標語「愛神愛隣」への理解を深め、培ってきた教育の姿勢をさらに展開させ、高い他者共感性を備えて世界に仕え、もって未来を切り拓く生徒・学生を送り出しています。

本学院の創立者であるお二人の女性宣教師は、米国最初の海外宣教団体アメリカンボードより派遣され、切支丹禁令の高札撤去直後の1873年4月、神戸に着任されました。伝道開始から間もなく出会った数名の婦人らより子女への教育を請われ、私塾で聖書と英語と音楽などを教えます。二年後に「女学校」が開設されました。開校に際して、創立者イライザ・タルカットは、生徒たちに「目を上げ、背筋を伸ばし、前を見なさい」と語りかけ、神の前に一人の人として立つ自立的かつ自律的な、聖書に基づく人間の在り方を示しました。もう一人の創立者ジュリア・ダッドレーも

「愛神愛隣」の聖句をもって、キリスト教の理解に大切な「隣人愛」を教えていました。お二人に続く宣教師の先生方は教育の方法としてリベラルアーツの理念を導入し、今日の礎を築かれました。現在、神戸女学院には中学部、高等学部、大学、大学院に約3,500人が学び、多様な場面に立ち向かう知性と教養を身につけるため、それぞの目標と専門に応じた研鑽を重ねています。

今般の中期計画を立てるにあたり、大学と中高部はそれぞれ教育の基本認識を提示しました。キリスト教、国際理解、リベラルアーツ、高い共感力、豊かな人間性など、先達から継承した多くの指標が共有されています。私学は元来、訴えるべきメッセージがあって歩み始めた教育共同体です。2025年、わたくしたちは創立150周年を迎えます。受け継いできたものを次世代へと架橋するよう努めつつ、お支えくださる方々の思いに学び、不足点をただし、女性への教育機関としての意味をさらに問い、校地・校舎の更新、リベラルアーツ教育の深化、教育・研究環境の改善、グローバル化・技術化への対応、社会からの要請など諸課題に取り組み、新たな歴史を創り出します。

理事長・院長 飯 謙

## 大学

神戸女学院大学は、キリスト教主義、国際理解の精神、リベラルアーツ教育の3つの教育の柱を掲げ、主体的に学び、高い共感力と対応力、それらを素地とした専門的能力を備え、様々な場面でリーダーシップを発揮することの出来る女性を育てることを教育の目標としています。

この目標を達成するための教育の場であり続けるために、これから5年間、以下の項目を実施致します。

- ① 2017年度より施行の新カリキュラムの効果の検証をし、必要に応じたリベラルアーツ教育のさらなる可視化、強化を目指した改訂を施す。
- ② アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーなどに記載の本学学修目標のさらなる可視化を実践し、今後の質保証・教学マネジメントの体制を整備する。
- ③ 受験生に分かりやすい本学の情報を継続的に提供するとともに、新学習指導要領および入試改革に適切に対応した入試の体制を整備する。
- ④ ウィズ・コロナ、アフター・コロナにおいて、学修者に寄り添った教育の体制を整備する。キャンパスと教室を活用した対面授業の充実と、時代に即した質の高いオンライン教育の両立を図り、さらにリカレント教育、教育の国際化などに対応できる体制を強化する。
- ⑤ 教育研究環境及び組織の整備と質の向上、特に、教員のジェンダーバランスの適正な維持、研究者養成も含む、学修者・研究者の多様化に対応出来る体制を整備する。これに伴い、本学が求める教員像との関連を考慮し、教員構成のあり方について検討する。
- ⑥ 学長を中心とした組織部署の適切性の検証をし、大学全体のガバナンスのあり方を持続的に検証する。
- ⑦ 地域連携・国際連携活動を通じ、SDGsに対応出来る人材を育成し、全学レベルでSDGsとの関わり方についての共通認識を醸成する。
- ⑧ 2025年学院創立150周年に向け、学院とともに多様な学生の姿に対応したハードおよびソフト面の教育体制を立案し、具体化する。

## 中高部

神戸女学院中学部・高等学部は、キリスト教による人格形成、国際理解のための英語教育、生徒の主体的な学び、を尊重することにより、豊かな人間性とリーダーシップを持った自立した女性を育てることを教育の目標としています。

これから5年間において、真理を探究する学びの場としてのふさわしい環境を整えるために、以下の6項目を実施していきます。

- ① 少人数化クラスの教育環境を順次整える。また、校舎の改修をする。
- ② 問題を抱える生徒に寄り添い対応していくことができるよう、特別支援体制を整える。
- ③ ITを用いた適切な教育環境、学習形態を再検討し、その体制を整える。
- ④ 課外活動である放課後のクラブ活動について、学校が担える部分と、外部の方が担える部分との検討をし、体制を整える。
- ⑤ 学習環境を整えるために、葆光館、アンジー・クルー記念館の空調システムや、ロッカ室の整備を行う。また、老朽化の進んだ部分の改修工事を行う。
- ⑥ 新学習指導要領に対応した、新しいカリキュラムを作成し実施する。

# 2021年度 事業計画

(2021年3月24日 理事会承認)

## 大学

コロナ禍にあって大学での教育活動の形態が大きく変わろうとしている中、学修者に寄り添うことを目的としたオンライン授業体制について強化を進めています。また2020年度で完成を迎えた新カリキュラムを検証し、本学の教育の柱の一つであるリベラルアーツ教育の充実をはかるとともに、受験生や社会に本学の教育活動をわかりやすく伝えることができるよう入試広報に力を入れます。

### 1 リベラルアーツ教育の充実と応用

- ▶ 2017年度から施行し2020年度に完成を迎えた新カリキュラムについて効果検証し、更なるリベラルアーツ教育の充実に努めます。

### 2 学修環境、学修支援環境の充実

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対応を含むIT環境整備推進のためITリプレースを行い、ウズコロナ、アフターコロナにおける持続性の高い教育体制を整備します。
- ▶ 既存の支援に加え、コロナ禍で経済的に困難な中にある2021年度入学者に対し、緊急特別奨学金を設置します。
- ▶ 第三体育館クラブ室にエアコン設置を行い、全クラブ室のエアコン設置を完了します。

### 3 広報体制の強化

- ▶ 受験生に本学がより見えやすい形になるよう入試広報・大学広報の在り方を立案し、実践します。
- ▶ 2020年度に収集した情報を新たなオウンドメディアとして公開し、学生・保護者のほか、受験生や社会にわかりやすい「本学の今」を発信します。

### 4 入学志願者数の確保

- ▶ 入学者・非入学者アンケートを実施し、2021年度入試結果について検証します。受験生及び社会にわかりやすい本学についての情報を再可視化することで、入学志願者数の回復・増加に繋げます。

### 5 IR機能の促進・強化

- ▶ 教育の可視化、情報の透明化をさらに進め、IR体制を整備します。既存のIR情報をまとめたデータブックを作成し広報することで、本学に対する具体性を伴った認知に繋げます。

### 6 グローバル時代への対応

- ▶ 新たに設定した国際化ビジョンのもと、本学初となるアフリカ地域における大学間交流を、オンラインツール等の活用を含め進めています。

### 7 SDGsを見据えた社会貢献・地域連携の強化

- ▶ 2020年度から参画したダイバーシティ研究環境実現インシアタイプと関西SDGsプラットフォームのもと、地域、社会との連携を推進していきます。

### 8 キャリア・サポート体制の充実

- ▶ コロナ禍でのキャリア支援として、対面とオンラインを併用した支援体制を再度整備します。特に直接企業を知る機会が減った現状を外部団体の協力も得て増やし、電話等での学生個々の支援も強化します。

### 9 その他

- ▶ 2025年の学院150周年に向けて学院とともに計画を進めています。
- ▶ 2022年度に大学基準協会認証評価受審のため、必要資料収集、報告書の作成を行います。

## 中高部

### 1 1クラス40人以下教育体制の検討

- ▶ 1クラス40人以下の教育体制を整えるのに必要なことを整理し、検討委員会を立ち上げ対応策を検討します。

### 2 特別支援への対応強化

- ▶ 保健室別室に特別支援に対応できる人を1名配置し、今後必要なことを検討します。

### 3 ITを用いた実験授業の積極的な実践

- ▶ IT環境の実験年と位置づけ、積極的に実験授業を実施し、報告書をまとめます。

### 4 クラブコーチ制への移行の検討

- ▶ クラブコーチ制導入、利用のための条件を整理します。

### 5 修学環境の整備

- ▶ 葆光館空調システムの各教室内の吹出装置の改善するほか、中学部ロッカーを入れ替えます。

### 6 新カリキュラム関係

- ▶ 新カリキュラム案の作成を行います。

## 法人

### 1 創立150周年関係

- ▶ 2025年の創立150周年に向け、昨年度策定したメッセージ及びロゴマークの学内外への浸透に向けた取組みを計画します。
- ▶ 創立150周年特設WEBサイトを活用した様々な情報発信を計画します。

### 2 法人運営関係

- ▶ 災害時に備え、学内事業者との連携強化及び各建物に防災グッズの配備を順次進めます。

### 3 経理・財務関係

- ▶ 2021年度は、ITリプレイスに伴い収支の赤字が不可避であるので、経費支出の一層の適正な管理を行い、赤字幅の縮小に努めます。
- ▶ 低金利下、金融資産運用での利子・配当収入確保は一段と難しくなってきていますが、引き続きリスクを最小限にした慎重な金融資産運用を行います。
- ▶ 創立150周年に向けた事業を行うにあたり、使用可能な資金額について、学院の将来への備えも十分に視野に入れた検討を行います。
- ▶ 2020年度は検討が進まなかつた旅費規程の見直し作業を進め、旅費関連事務の標準化を図ります。

### 4 施設関係

- ①キャンパス再整備マスタープラン関係
- ▶ 2021年5月に「キャンパス再整備マスタープラン」が提出された後、施設建築に対するニーズを再度確認し、理事会も含めた関係部署とも密接に意見交換を行い、創立150周年に向けての具体的事業計画についての検討を進めます。
- ②学院施設の充実
- ▶ 豪雨時に漏水が生じる新社交館の経年劣化した屋上の防水層を全面改修します。

- ▶ 講堂の舞台装置のうち設置後40年以上経過する吊り物機構を安全機能付き機器に更新、またホリゾント幕とスクリーン、ワインチも併せて更新します。

- ▶ 精密点検において動作不良が判明した学生寮系統のキュビクル高圧機器を予防保全の観点から更新します。

- ▶ 機器不良が生じる都度、真空引き等の修理対応で運転を維持している理学館、音楽館(音楽学部1号館)の空調熱源(冷温水発生器)を更新します。

- ▶ 火災予防の取組として、設置後20~30年が経過する自動火災報知設備の更新を進めます。また茶室「松風庵」は貴重な木造建造物であることから自動火災報知設備を自主設置します。

- ▶ 学内各所のパッケージ式エアコンのうち、設置後20年が経過した機器について予防保全と性能向上による省エネルギーの観点から更新を進めます。

- ▶ 総務館理事室にWifi設備を導入し、オンライン対応と会議のペーパーレス化促進のための環境を整えます。

- ▶ 正門南西脇の通用口のセキュリティ強化のために既存の低い門扉を改修します。その際、神戸山本通時代の学院北門の門柱(古材)を活用することで歴史の継承を図ります。

- ▶ イライザ・タルカット記念館の外装改修は2017年度から順次、各面の壁とサッシ等の補修を行って参りましたが、最後に東面の補修を行うことで一連の計画を終了します。

- ▶ 院長公舎建物を解体し、敷地として有効活用できるように環境整備します。

- ▶ キャンパス東エリアの空地(宅地跡地)を活用できるよう整備します。

- ▶ 順次実施している外灯(水銀灯)のLED化を引き続き進めます。

### ③重要文化財保存活用関係

- ▶ 社交館の経年劣化した屋上防水層の全面改修を行い、豪雨時に漏水が生じないよう予防保全による維持管理を行います。
- ▶ 理学館は豪雨時に小屋裏内に漏水被害が生じ木部の腐朽が懸念されるため、代表的な個所について、瓦の下地状況を確認しながら試験施工として先行修理を行います。なお、本修理は2025年度までの継続事業を予定しています。
- ▶ 2021年2月に文化庁の認定済みの重要文化財神戸女学院(建造物)保存活用計画(2020年3月改訂版)について製本版を作成します。